

# 平成 28 年 度 当 初 予 算 資 料

1 会計別予算	P	1
2 一般会計歳入歳出予算（歳入）	P	2
3 歳入の主な増減	P	3
4 一般会計歳入歳出予算（歳出）	P	4
5 歳出の主な増減	P	5
6 歳出予算款別財源内訳表	P	6
7 歳出予算性質別目的別分類表	P	8
8 一般会計当初予算の推移	P	10
9 税等収入予算資料	P	12
10 市税等の推移（決算ベース）	P	14
11 地方債年度末現在高の推移	P	16
12 一般会計歳出予算（部局別）	P	18
13 各部局当初予算説明資料	P	19
危機管理監	P	19
政策推進部	P	23
総務部	P	30
財政経営部	P	34
市民文化部	P	40
健康福祉部	P	64
子ども未来部	P	87
商工農水部	P	101
環境部	P	124
都市整備部	P	136
会計管理室	P	159
議会事務局	P	160
監査事務局	P	162
教育委員会	P	163
消防本部	P	184
上下水道局	P	190
市立四日市病院	P	199
14 防災・減災事業について	P	205
15 子育て関係事業について	P	209
16 環境関連事業について	P	213
17 産業活性化関係事業について	P	214
18 文化・観光・スポーツ事業について	P	215



# 平成 28 年 度 会 計 別 予 算

(単位 千円)

区 分 会 計 名	平成28年度 予算額(A)	平成27年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) — × 100(%) (B)	
一 般 会 計	108,688,051	118,390,000	△ 9,701,949	91.8	
特 別 会 計	競 輪 事 業	18,340,000	18,843,000	△ 503,000	97.3
	国 民 健 康 保 険	34,877,000	34,878,000	△ 1,000	100.0
	食 肉 セ ン タ ー 食 肉 市 場	692,000	680,000	12,000	101.8
	土 地 区 画 整 理 事 業	357,900	437,800	△ 79,900	81.7
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	11,500	12,400	△ 900	92.7
	公 共 用 地 取 得 事 業	0	481,464	△ 481,464	皆減
	農 業 集 落 排 水 事 業	327,000	315,900	11,100	103.5
	介 護 保 険	21,384,000	21,090,000	294,000	101.4
	後 期 高 齢 者 医 療	5,742,000	5,400,000	342,000	106.3
	計	81,731,400	82,138,564	△ 407,164	99.5
公 会 営 企 業 計	水 道 事 業	10,606,683	10,068,249	538,434	105.3
	市 立 四 日 市 病 院 事 業	23,792,780	22,081,140	1,711,640	107.8
	下 水 道 事 業	26,761,260	25,294,195	1,467,065	105.8
	計	61,160,723	57,443,584	3,717,139	106.5
桜 財 産 区	41,700	39,900	1,800	104.5	
合 計	251,621,874	258,012,048	△ 6,390,174	97.5	

# 平成28年度一般会計歳入歳出予算（歳入）

(単位 千円)

区 分 款 別	平成28年度 予算額(A)	平成27年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) — × 100(%) (B)	構 成 比 率 (%)	
					平成28年度	平成27年度
① 市 税	62,522,600	60,365,900	2,156,700	103.6	57.5	51.0
2. 地 方 譲 与 税	1,180,001	1,110,001	70,000	106.3	1.1	0.9
3. 利 子 割 交 付 金	90,000	130,000	△ 40,000	69.2	0.1	0.1
4. 配 当 割 交 付 金	300,000	300,000	0	100.0	0.3	0.3
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	270,000	300,000	△ 30,000	90.0	0.2	0.3
6. 地 方 消 費 税 交 付 金	5,660,000	5,231,000	429,000	108.2	5.2	4.4
7. ゴルフ場利用税交付金	90,000	90,000	0	100.0	0.1	0.1
8. 自動車取得税交付金	210,000	144,000	66,000	145.8	0.2	0.1
9. 地方特例交付金	197,000	180,000	17,000	109.4	0.2	0.2
10. 地 方 交 付 税	1,500,000	2,170,000	△ 670,000	69.1	1.4	1.8
うち普通交付税	870,000	1,370,000	△ 500,000	63.5	0.8	1.2
11. 交通安全対策特別交付金	63,000	68,000	△ 5,000	92.6	0.1	0.1
⑫ 分 担 金 及 び 負 担 金	1,297,510	1,295,310	2,200	100.2	1.2	1.1
⑬ 使 用 料 及 び 手 数 料	2,201,044	2,202,592	△ 1,548	99.9	2.0	1.9
14. 国 庫 支 出 金	14,934,414	19,488,261	△ 4,553,847	76.6	13.7	16.4
15. 県 支 出 金	6,672,644	6,354,416	318,228	105.0	6.1	5.4
⑯ 財 産 収 入	167,529	137,790	29,739	121.6	0.2	0.1
⑰ 寄 附 金	24,101	21,101	3,000	114.2	0.0	0.0
⑱ 繰 入 金	1,683,536	1,792,606	△ 109,070	93.9	1.5	1.5
⑲ 繰 越 金	500,090	600,089	△ 99,999	83.3	0.5	0.5
⑳ 諸 収 入	4,360,682	5,518,834	△ 1,158,152	79.0	4.0	4.7
21. 市 債	4,763,900	10,890,100	△ 6,126,200	43.7	4.4	9.1
うち臨時財政対策債	830,000	2,339,000	△ 1,509,000	35.5	0.8	2.0
歳 入 合 計	108,688,051	118,390,000	△ 9,701,949	91.8	100.0	100.0

○付数字は自主財源

【款別の主な増減(歳入)】	(単位:千円)		
	平成27年度予算額	平成28年度予算額	増減
<b>市税</b>			
市民税	23,717,800	⇒ 23,991,500	( 273,700 )
固定資産税	28,496,500	⇒ 30,079,700	( 1,583,200 )
事業所税	2,856,400	⇒ 3,080,400	( 224,000 )
都市計画税	2,380,200	⇒ 2,507,700	( 127,500 )
<b>地方消費税交付金</b>			
地方消費税交付金	5,231,000	⇒ 5,660,000	( 429,000 )
<b>地方交付税</b>			
普通交付税	1,370,000	⇒ 870,000	( △ 500,000 )
特別交付税	800,000	⇒ 630,000	( △ 170,000 )
<b>国庫支出金</b>			
障害者自立支援給付費負担金	1,884,926	⇒ 2,025,805	( 140,879 )
国民健康保険保険基盤安定負担金	94,902	⇒ 241,772	( 146,870 )
障害児入所給付費等国庫負担金	192,748	⇒ 316,562	( 123,814 )
児童手当給付費負担金	3,786,953	⇒ 3,685,564	( △ 101,389 )
生活保護費負担金	4,744,500	⇒ 4,602,000	( △ 142,500 )
臨時福祉給付金給付事業費補助金	295,800	⇒ 148,500	( △ 147,300 )
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金	0	⇒ 101,250	( 101,250 )
地域介護・福祉空間整備推進交付金	304,465	⇒ 12,959	( △ 291,506 )
子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金	123,900	⇒ 0	( △ 123,900 )
循環型社会形成推進交付金	4,518,630	⇒ 0	( △ 4,518,630 )
社会資本整備総合交付金(住宅)	281,853	⇒ 68,035	( △ 213,818 )
<b>県支出金</b>			
障害者自立支援給付費負担金	942,462	⇒ 1,012,901	( 70,439 )
国民健康保険保険基盤安定負担金	696,531	⇒ 797,469	( 100,938 )
後期高齢者医療保険基盤安定負担金	370,189	⇒ 419,000	( 48,811 )
障害児施設措置費(給付費等)負担金	96,374	⇒ 158,280	( 61,906 )
地域医療介護総合確保基金事業補助金	0	⇒ 316,682	( 316,682 )
海岸保全事業費補助金	144,500	⇒ 60,000	( △ 84,500 )
農業土木災害復旧費補助金	186,065	⇒ 0	( △ 186,065 )
参議院議員選挙費委託金	0	⇒ 72,474	( 72,474 )
<b>繰入金</b>			
財政調整基金繰入金	0	⇒ 690,051	( 690,051 )
都市基盤・公共施設等整備基金繰入金	34,500	⇒ 726,100	( 691,600 )
廃棄物処理施設整備基金繰入金	1,113,103	⇒ 0	( △ 1,113,103 )
内部八王子線基金繰入金	265,000	⇒ 105,000	( △ 160,000 )
市営住宅整備基金繰入金	233,870	⇒ 21,818	( △ 212,052 )
<b>諸収入</b>			
中小企業振興資金融資預託金元利収入	2,110,000	⇒ 1,703,000	( △ 407,000 )
消防指令センター共同運用準備負担金	666,187	⇒ 0	( △ 666,187 )
ごみ発電電力売却収入	0	⇒ 489,000	( 489,000 )
朝日、川越二町環境事務受託費	517,927	⇒ 29,480	( △ 488,447 )
<b>市債</b>			
芸術文化施設整備事業資金	0	⇒ 558,900	( 558,900 )
ごみ処理施設整備事業資金	5,566,000	⇒ 0	( △ 5,566,000 )
埋立処分場整備事業資金	343,200	⇒ 0	( △ 343,200 )
公営住宅建設事業資金	214,200	⇒ 9,000	( △ 205,200 )
消防施設設備整備事業資金	654,600	⇒ 254,500	( △ 400,100 )
義務教育施設整備事業資金	364,200	⇒ 915,800	( 551,600 )
臨時財政対策資金	2,339,000	⇒ 830,000	( △ 1,509,000 )

## 平成28年度一般会計歳入歳出予算（歳出）

(単位 千円)

区 分  款 別	平成28年度 予算額(A)	平成27年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) — × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					平成28年度	平成27年度
1. 議会費	679,450	752,023	△ 72,573	90.3	0.6	0.6
2. 総務費	12,293,868	12,088,894	204,974	101.7	11.3	10.2
3. 民生費	40,239,897	37,688,067	2,551,830	106.8	37.0	31.8
4. 衛生費	9,216,755	21,412,215	△ 12,195,460	43.0	8.5	18.1
5. 労働費	56,381	59,507	△ 3,126	94.7	0.1	0.1
6. 農林水産業費	1,720,972	1,667,377	53,595	103.2	1.6	1.4
7. 商工費	3,308,926	3,718,416	△ 409,490	89.0	3.0	3.1
8. 土木費	16,938,618	16,963,317	△ 24,699	99.9	15.6	14.3
9. 消防費	4,332,827	5,026,048	△ 693,221	86.2	4.0	4.3
10. 教育費	10,319,046	8,880,849	1,438,197	116.2	9.5	7.5
11. 公債費	9,481,311	9,846,287	△ 364,976	96.3	8.7	8.3
12. 予備費	100,000	100,000	0	100.0	0.1	0.1
災害復旧費	0	187,000	△ 187,000	皆減	0.0	0.2
歳出合計	108,688,051	118,390,000	△ 9,701,949	91.8	100.0	100.0

※構成比は四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

【款別の主な増減(歳出)】

(単位:千円)

	平成27年度予算額	平成28年度予算額	増減
<b>総務費</b>	12,088,894	12,293,868	204,974
三浜文化会館整備事業費	49,600 ⇒	722,400 (	672,800)
総合防災拠点整備事業費	12,700 ⇒	291,700 (	279,000)
橋北交流会館整備事業費(橋北交流施設)	15,700 ⇒	229,200 (	213,500)
防災倉庫整備事業費	51,300 ⇒	184,350 (	133,050)
基幹統計調査員報酬	114,815 ⇒	12,016 (	△ 102,799)
戸籍住民基本台帳事務費	222,055 ⇒	99,490 (	△ 122,565)
システム保守運用経費	705,424 ⇒	557,972 (	△ 147,452)
番号制度関連事業費	206,531 ⇒	13,545 (	△ 192,986)
防災システム整備事業費	231,753 ⇒	630 (	△ 231,123)
非常用電源等対策事業費	244,130 ⇒	0 (	△ 244,130)
<b>民生費</b>	37,688,067	40,239,897	2,551,830
橋北交流会館整備事業費(幼稚園・保育園)	29,800 ⇒	456,622 (	426,822)
国民健康保険特別会計繰出金	1,568,612 ⇒	1,861,574 (	292,962)
障害児通所事業費	388,813 ⇒	638,244 (	249,431)
児童発達支援センターあけぼの学園移転整備事業費	7,700 ⇒	254,000 (	246,300)
橋北交流会館整備事業費(児童館)	15,300 ⇒	245,498 (	230,198)
民間保育所整備事業費	5,346 ⇒	216,484 (	211,138)
地域型保育事業費	80,896 ⇒	236,765 (	155,869)
保育所事務費事業費(児童一般分)	2,626,000 ⇒	2,743,629 (	117,629)
学童保育事業費	285,767 ⇒	392,271 (	106,504)
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費	0 ⇒	101,250 (	101,250)
介護保険特別会計繰出金	3,076,072 ⇒	3,144,365 (	68,293)
子育て世帯臨時特例給付金給付事業費・事務費	140,000 ⇒	0 (	△ 140,000)
児童手当	5,423,700 ⇒	5,279,800 (	△ 143,900)
<b>衛生費</b>	21,412,215	9,216,755	△ 12,195,460
病院企業会計負担金	788,752 ⇒	957,337 (	168,585)
検診事業費	458,422 ⇒	515,999 (	57,577)
埋立処分場延命化事業費	205,000 ⇒	0 (	△ 205,000)
埋立処分場整備事業費	532,334 ⇒	0 (	△ 532,334)
新総合ごみ処理施設整備事業費	11,665,123 ⇒	0 (	△ 11,665,123)
<b>農林水産業費</b>	1,667,377	1,720,972	53,595
水産物供給基盤機能保全事業費	9,000 ⇒	60,000 (	51,000)
茶業振興センター移転整備事業費	13,200 ⇒	61,300 (	48,100)
海岸保全事業費	170,000 ⇒	100,000 (	△ 70,000)
<b>商工費</b>	3,718,416	3,308,926	△ 409,490
民間研究所立地奨励金交付事業費	86,000 ⇒	117,000 (	31,000)
三重北勢地域地場産業振興センター運営費補助金	37,000 ⇒	67,000 (	30,000)
観光・シティプロモーション事業費	0 ⇒	28,510 (	28,510)
企業立地奨励金交付事業費	794,000 ⇒	672,000 (	△ 122,000)
中小企業振興資金融資預託金	2,110,000 ⇒	1,703,000 (	△ 407,000)
<b>土木費</b>	16,963,317	16,938,618	△ 24,699
下水道企業会計負担金・補助金	6,884,400 ⇒	7,111,900 (	227,500)
道路新設改良補助事業費	274,700 ⇒	441,000 (	166,300)
交通安全施設整備補助事業費	90,000 ⇒	243,000 (	153,000)
産業支援・生活拠点道路再生事業費	105,600 ⇒	190,000 (	84,400)
内部・八王子線運行事業費	720,630 ⇒	782,862 (	62,232)
連続立体化交差事業負担金	139,000 ⇒	196,025 (	57,025)
公園施設維持補修費	49,900 ⇒	101,000 (	51,100)
伊勢鉄道支援事業費	0 ⇒	20,605 (	20,605)
公園緑地整備補助事業費(垂坂公園・羽津山緑地)	90,000 ⇒	20,000 (	△ 70,000)
近鉄四日市駅等耐震化促進事業費	181,366 ⇒	17,166 (	△ 164,200)
JR四日市貨物駅移転用地取得事業費	410,184 ⇒	0 (	△ 410,184)
曙町市営住宅建設事業費	612,705 ⇒	22,300 (	△ 590,405)
<b>消防費</b>	5,026,048	4,332,827	△ 693,221
新消防分署整備事業費	142,554 ⇒	486,444 (	343,890)
退職手当	96,351 ⇒	260,616 (	164,265)
消防救急無線デジタル化及び新消防指令センター整備事業費	1,286,642 ⇒	1,937 (	△ 1,284,705)
<b>教育費</b>	8,880,849	10,319,046	1,438,197
笹川中学校改築整備事業費	203,200 ⇒	994,000 (	790,800)
中央緑地運動施設整備事業費(国体関係分)	45,400 ⇒	225,800 (	180,400)
大規模改修事業費(中学校)	183,400 ⇒	336,000 (	152,600)
幼稚園整備事業費(アセットマネジメント)	99,400 ⇒	168,800 (	69,400)
大規模改修事業費(小学校)	135,900 ⇒	196,000 (	60,100)
少年自然の家施設整備事業費(アセットマネジメント)	0 ⇒	59,900 (	59,900)
施設補修費(小学校)	121,000 ⇒	171,070 (	50,070)
橋北交流会館整備事業費(運動施設)	0 ⇒	47,600 (	47,600)
中学校屋内運動場等吊天井崩落対策事業費(アセットマネジメント)	64,200 ⇒	0 (	△ 64,200)
<b>公債費</b>	9,846,287	9,481,311	△ 364,976
地方債償還金	8,931,502 ⇒	8,678,024 (	△ 253,478)
地方債利子	904,785 ⇒	793,287 (	△ 111,498)

歳 出 予 算 款 別

款 別	本 年 度 予 算 額	左 の 財		
		国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債
1. 議 会 費	679,450			
2. 総 務 費	12,293,868	35,124	742,339	879,500
3. 民 生 費	40,239,897	13,386,109	5,319,589	647,000
4. 衛 生 費	9,216,755	76,952	82,042	28,300
5. 労 働 費	56,381			
6. 農林水産業費	1,720,972		198,781	
7. 商 工 費	3,308,926		149	15,700
8. 土 木 費	16,938,618	1,093,218	119,570	1,156,100
9. 消 防 費	4,332,827		113,962	254,500
10. 教 育 費	10,319,046	343,011	73,010	952,800
11. 公 債 費	9,481,311		23,202	
12. 予 備 費	100,000			
災 害 復 旧 費	0			
計	108,688,051	14,934,414	6,672,644	3,933,900
歳入振替項目	/			830,000
総 計	108,688,051	14,934,414	6,672,644	4,763,900

※構成比については端数処理のため合計が合わない場合があります。

# 財 源 内 訳 表

(単位 千円)

源 内 訳			前 年 度 一般財源	一般財源投入率 (%)	
使用料及び 手数料	そ の 他	一 般 財 源		本年度	前年度
	296	679,154	751,697	0.9	1.0
196,547	394,091	10,046,267	10,279,783	13.5	14.0
171,603	1,667,629	19,047,967	18,006,479	25.6	24.6
928,375	1,424,265	6,676,821	7,254,857	9.0	9.9
319		56,062	59,170	0.1	0.1
334	150,428	1,371,429	1,215,038	1.8	1.7
182	1,814,066	1,478,829	1,458,250	2.0	2.0
714,981	273,153	13,581,596	13,352,704	18.2	18.2
78,699	397,385	3,488,281	3,177,506	4.7	4.3
103,516	387,600	8,459,109	7,909,628	11.4	10.8
6,487	31,857	9,419,765	9,717,618	12.7	13.3
		100,000	100,000	0.1	0.1
		0	232	—	0.0
2,201,043	6,540,770	74,405,280	73,282,962	100.0	100.0
1	1,264,627	△ 2,094,628	△ 3,194,061	—	—
2,201,044	7,805,397	72,310,652	70,088,901	—	—

## 歳 出 予 算 性 質 別

区 分	本 年 度		前 年 度	
	予 算 額 (A)	一 般 財 源 (B)	予 算 額 (C)	一 般 財 源 (D)
1. 人 件 費	17,517,036	15,832,009	16,940,299	15,161,255
(1) 報 酬	630,930	628,961	697,293	694,398
(2) 基 本 給	8,085,575	6,575,052	7,906,990	6,281,621
(3) そ の 他 の 手 当	4,610,467	4,516,892	4,405,875	4,316,500
(4) 退 職 手 当	1,445,412	1,428,271	1,315,351	1,310,523
(5) 恩 給 退 職 年 金	3,161	3,161	3,158	3,158
(6) そ の 他	2,741,491	2,679,672	2,611,632	2,555,055
2. 物 件 費	16,002,029	13,086,367	15,890,622	13,314,250
3. 維 持 補 修 費	2,115,630	1,342,345	1,863,489	1,063,265
4. 扶 助 費	23,948,285	7,345,804	23,049,344	6,763,423
5. 補 助 費 等	15,489,351	13,795,273	15,818,927	13,743,845
6. 投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	1,788,770	60,000	2,225,270	20,000
7. 積 立 金	150,647	100,000	135,545	100,000
8. 繰 出 金	9,010,047	7,510,460	8,593,504	7,386,575
9. 公 債 費	9,481,311	9,419,765	9,846,287	9,717,618
10. 投 資 的 経 費	13,084,859	5,813,257	23,926,626	5,912,731
(1) 普 通 建 設 事 業	12,886,834	5,793,432	23,570,626	5,895,599
イ、補 助	5,036,590	1,186,587	14,031,382	642,411
ロ、単 独	7,850,244	4,606,845	9,539,244	5,253,188
(2) 災 害 復 旧 事 業			187,000	232
イ、補 助			187,000	232
ロ、単 独				
(3) 失 業 対 策 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(4) 県 営 事 業 負 担 金	198,025	19,825	169,000	16,900
11. 予 備 費	100,086	100,000	100,087	100,000
合 計	108,688,051	74,405,280	118,390,000	73,282,962

目的別分類表

(単位 千円)

比較				構成比率 (%)			
予算額		一般財源		本年度		前年度	
(A) - (C)	(A)/(C)×100 (%)	(B) - (D)	(B)/(D)×100 (%)	予算額	一般財源	予算額	一般財源
576,737	103.4	670,754	104.4	16.1	21.3	14.3	20.7
△ 66,363	90.5	△ 65,437	90.6	0.6	0.8	0.6	0.9
178,585	102.3	293,431	104.7	7.4	8.8	6.7	8.6
204,592	104.6	200,392	104.6	4.2	6.1	3.7	5.9
130,061	109.9	117,748	109.0	1.3	1.9	1.1	1.8
3	100.1	3	100.1	0.0	0.0	0.0	0.0
129,859	105.0	124,617	104.9	2.5	3.6	2.2	3.5
111,407	100.7	△ 227,883	98.3	14.7	17.6	13.4	18.2
252,141	113.5	279,080	126.2	1.9	1.8	1.6	1.4
898,941	103.9	582,381	108.6	22.0	9.9	19.5	9.2
△ 329,576	97.9	51,428	100.4	14.3	18.5	13.4	18.8
△ 436,500	80.4	40,000	300.0	1.6	0.1	1.9	0.0
15,102	111.1	0	100.0	0.1	0.1	0.1	0.1
416,543	104.8	123,885	101.7	8.3	10.1	7.2	10.1
△ 364,976	96.3	△ 297,853	96.9	8.7	12.7	8.3	13.3
△ 10,841,767	54.7	△ 99,474	98.3	12.0	7.8	20.2	8.1
△ 10,683,792	54.7	△ 102,167	98.3	11.9	7.8	19.9	8.0
△ 8,994,792	35.9	544,176	184.7	4.6	1.6	11.9	0.9
△ 1,689,000	82.3	△ 646,343	87.7	7.2	6.2	8.1	7.2
△ 187,000	皆減	△ 232	皆減			0.2	0.0
△ 187,000	皆減	△ 232	皆減			0.2	0.0
29,025	117.2	2,925	117.3	0.2	0.0	0.1	0.0
△ 1	100.0	0	100.0	0.1	0.1	0.1	0.1
△ 9,701,949	91.8	1,122,318	101.5	100.0	100.0	100.0	100.0

※構成比については、四捨五入しておりますので合計が合わない場合があります。

# 一 般 会 計 当 初

年度	一 般 会 計		歳 入						
			市 税		地 方 交 付 税		市 債		繰 入 金
	伸 び 率	税 収 比 率	普 通	特 別	発 行 額	市 債 依 存 度	3基 金		
平成		%	%	実 績	実 績		%		
12	93,280,000	2.6	50,140,900	53.8	3,042,159	1,288,142	5,868,500	6.3	2,908,000
13	95,760,000	2.7	51,120,000	53.4	2,988,761	1,236,052	8,382,800	8.7	2,840,000
14	94,580,000	△ 1.2	49,616,000	52.4	4,100,304	1,183,361	8,394,200	8.9	3,175,000
15	90,990,000	△ 3.8	47,339,000	52.0	3,974,549	1,105,390	9,451,300	10.4	2,600,000
16	95,980,000	5.5	48,305,000	50.3	2,039,446	1,105,338	13,373,200	13.9	1,445,000
17	93,290,000	△ 2.8	50,395,300	54.0	2,769,273	1,162,118	8,782,500	9.4	180,000
18	95,400,000	2.3	53,605,700	56.2	786,908	1,045,152	8,468,700	8.9	1,130,000
19	98,138,000	2.9	58,053,600	59.2	807,954	799,504	7,947,500	8.1	300,000
20	99,848,000	1.7	63,244,700	63.3	385,604	783,864	6,004,900	6.0	0
21	97,382,000	△ 2.5	61,144,400	62.8	825,917	784,864	5,105,300	5.2	0
22	99,141,000	1.8	57,959,600	58.5	1,651,021	842,323	5,817,500	5.9	849,041
23	104,560,000	5.5	59,886,600	57.3	1,944,240	874,184	6,705,400	6.4	14,253
24	102,774,000	△ 1.7	60,879,200	59.2	1,856,109	896,497	6,187,800	6.0	15,169
25	102,697,438	△ 0.1	60,739,300	59.1	2,088,363	808,494	6,176,900	6.0	70,887
26	107,890,000	5.1	60,871,900	56.4	1,749,810	800,469	9,233,100	8.6	18,000
27	118,390,000	9.7	60,365,900	51.0	(8月補正後) 1,531,829	(当初予算) 800,000	10,890,100	9.2	47,892
28	108,688,051	△ 8.2	62,522,600	57.5	870,000	630,000	4,763,900	4.4	1,425,125

# 予 算 の 推 移

(単位 :千円)

繰 入 金	歳 出						繰 出 金
	公 債 費	構成比	地方債年 度末残高	投 資 的 経 費			
				うち普通建設事業費			
				補 助	単 独		
競 輪		%	実績				
実績		%	実績				
50,000	11,402,980	12.2	105,427,282	13,757,572	4,660,986	8,470,905	11,993,916
50,000	11,635,219	12.2	105,328,737	15,957,660	5,532,111	9,865,564	12,115,049
10,000	12,484,540	13.2	104,684,936	13,142,840	1,999,812	10,322,178	5,068,066
50,000	12,343,622	13.6	104,476,960	10,305,917	1,359,639	8,529,628	5,439,030
100,000	18,557,091	19.3	105,425,611	9,605,201	2,007,201	7,521,250	5,762,733
0	12,733,510	13.6	102,599,283	11,515,480	3,504,972	7,853,883	6,397,305
0	12,836,604	13.5	100,338,490	12,976,803	2,792,118	10,084,376	6,621,011
0	12,620,315	12.9	98,296,307	12,525,578	2,371,154	9,819,624	6,710,597
0	12,959,925	13.0	98,828,006	11,519,976	1,733,390	9,430,111	7,932,841
100,000	12,659,464	13.0	96,414,973	9,026,030	1,285,914	7,687,241	8,216,381
500,000	11,614,100	11.7	92,581,596	8,259,618	1,861,904	5,993,839	7,900,832
100,000	11,406,188	10.9	87,503,991	10,059,127	3,217,941	6,437,746	8,088,790
100,000	11,719,608	11.4	80,643,109	10,121,445	2,364,877	7,382,216	8,068,206
100,000	11,623,543	11.3	75,627,184	10,191,981	3,554,440	6,366,623	8,064,360
100,000	10,684,521	9.9	72,817,345	14,749,747	6,737,842	7,748,505	8,208,646
(当初予算)			(11月補正後)				
150,000	9,846,287	8.3	74,206,698	23,926,626	14,031,382	9,539,244	8,593,504
180,000	9,481,311	8.7	70,292,574	13,084,859	5,036,590	7,850,244	9,010,047

## 平成28年度税等収入予算資料

(単位 千円)

科目	税率等	調定見込額	収納率 見込%	本年度当初予算 計上額(A)	前年度当初予算 計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
<b>市税</b>		64,873,900	96.4	62,522,600	60,365,900	103.6
1. 市民税		25,303,400	94.8	23,991,500	23,717,800	101.2
一 個人		20,165,200	93.7	18,887,100	18,525,500	102.0
イ、現年課税分	153,107(人)	19,029,500	97.7	18,591,800	18,205,000	102.1
所得割	6%	18,493,700	97.7	18,068,300	17,686,300	102.2
均等割	3,500(円)	535,800	97.7	523,500	518,700	100.9
ロ、滞納繰越分		1,135,700	26.0	295,300	320,500	92.1
二 法人	8,458(社)	5,138,200	99.3	5,104,400	5,192,300	98.3
イ、現年課税分		5,112,500	99.7	5,097,200	5,185,200	98.3
法人税割	10.9%	4,112,500	99.7	4,100,200	4,188,200	97.9
均等割	5、12、13、15、16、40、 41、175、300(万円)	1,000,000	99.7	997,000	997,000	100.0
ロ、滞納繰越分		25,700	28.0	7,200	7,100	101.4
2. 固定資産税		30,991,500	97.1	30,079,700	28,496,500	105.6
一 固定資産税		30,965,700	97.1	30,053,900	28,469,800	105.6
イ、現年課税分		30,145,400	98.9	29,824,200	28,230,000	105.6
土地	1.4%	8,048,200	98.2	7,903,300	8,103,100	97.5
家屋	1.4%	9,074,100	98.2	8,910,800	8,038,600	110.9
償却資産	1.4%	13,023,100	99.9	13,010,100	12,088,300	107.6
ロ、滞納繰越分		820,300	28.0	229,700	239,800	95.8
二 国有資産等所在 市町村交付金		25,800	100.0	25,800	26,700	96.6
イ、交付金	1.4%	25,800	100.0	25,800	26,700	96.6
3. 軽自動車税		675,200	94.4	637,500	611,700	104.2
イ、現年課税分	113,227(台) 2,000(円)～12,900(円)※1	645,600	97.5	629,500	603,600	104.3
ロ、滞納繰越分		29,600	27.0	8,000	8,100	98.8
4. 市たばこ税	5,262円/千本 (旧3級品) ～3月売渡し分 2,495円/千本 4月売渡し分～ 2,925円/千本	2,223,400	100.0	2,223,400	2,301,100	96.6
5. 入湯税	日帰り 1人 80円 宿泊 1人1泊 150円	2,400	100.0	2,400	2,200	109.1
6. 事業所税		3,092,100	99.6	3,080,400	2,856,400	107.8
イ、現年課税分		3,084,200	99.7	3,074,900	2,850,800	107.9
資産割	600円/m <sup>2</sup>	2,620,900	99.7	2,613,000	2,415,300	108.2
従業者割	0.25%	463,300	99.7	461,900	435,500	106.1
ロ、滞納繰越分		7,900	69.6	5,500	5,600	98.2
7. 都市計画税		2,585,900	97.0	2,507,700	2,380,200	105.4
イ、現年課税分		2,515,700	98.9	2,488,000	2,359,800	105.4
土地	0.2%	1,310,100	98.9	1,295,700	1,319,800	98.2
家屋	0.2%	1,205,600	98.9	1,192,300	1,040,000	114.6
ロ、滞納繰越分		70,200	28.1	19,700	20,400	96.6

※1 平成27年4月1日以降に新規登録された四輪等については新税率を適用

(単位 千円)

科目	税率等	調定見込額	収納率 見込%	本年度当初予算 計上額(A)	前年度当初予算 計上額(B)	(A) 100 — × (B) %
<b>地方譲与税</b>		1,180,001	100.0	1,180,001	1,110,001	106.3
1. 地方揮発油譲与税		230,000	100.0	230,000	240,000	95.8
2. 自動車重量譲与税		610,000	100.0	610,000	520,000	117.3
3. 地方道路譲与税		1	100.0	1	1	100.0
4. 特別とん譲与税		340,000	100.0	340,000	350,000	97.1
<b>利子割交付金</b>		90,000	100.0	90,000	130,000	69.2
利子割交付金		90,000	100.0	90,000	130,000	69.2
<b>配当割交付金</b>		300,000	100.0	300,000	300,000	100.0
配当割交付金		300,000	100.0	300,000	300,000	100.0
<b>株式等譲渡所得割交付金</b>		270,000	100.0	270,000	300,000	90.0
株式等譲渡所得割交付金		270,000	100.0	270,000	300,000	90.0
<b>地方消費税交付金</b>		5,660,000	100.0	5,660,000	5,231,000	108.2
地方消費税交付金		5,660,000	100.0	5,660,000	5,231,000	108.2
<b>ゴルフ場利用税交付金</b>		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
<b>自動車取得税交付金</b>		210,000	100.0	210,000	144,000	145.8
自動車取得税交付金		210,000	100.0	210,000	144,000	145.8
<b>地方特例交付金</b>		197,000	100.0	197,000	180,000	109.4
地方特例交付金		197,000	100.0	197,000	180,000	109.4

## 基金の状況

(単位：千円)

基金名	平成28年度末 残高見込	基金名	平成28年度末 残高見込
土地開発公社経営健全化基金	3,687,477	広域基幹道路整備基金	999,100
国際交流基金	98,805	緑化基金	110,993
文化振興基金	182,025	内部・八王子線基金	448,722
財政調整基金	10,492,115	市営住宅整備基金	0
都市基盤・公共施設等整備基金	3,992,196	学校施設整備基金	1,588,360
減債基金	308,440	小菅科学教育振興基金	28,447
まちづくり事業基金	2,770,832	土地開発基金	1,151,154
社会福祉事業振興基金	446,897	競輪事業財政調整基金	1,759,622
災害救助基金	103,442	競輪事業施設等整備基金	433,987
廃棄物処理施設整備基金	286,487	国民健康保険支払準備基金	2,150,716
市立四日市病院整備基金	15,980	東橋北住環境整備基金	12,785
ふるさと・水と土保全基金	8,906	介護保険給付費支払準備基金	591,501
中小企業振興基金	5,352		

## 市税等の推移

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
市 税	102.5%	111.7%	105.1%	96.5%	97.0%
	54,045,765	60,367,262	63,419,685	61,227,427	59,387,874
	109.5%	122.9%	103.2%	100.5%	90.8%
	14,990,751	18,430,529	19,024,242	19,111,411	17,343,888
	99.6%	114.3%	88.1%	51.2%	134.7%
うち個人市民税	7,537,684	8,613,826	7,587,180	3,887,930	5,238,580
うち法人市民税	100.3%	107.0%	112.4%	105.0%	94.5%
うち固定資産税	26,337,518	28,169,483	31,667,015	33,246,556	31,411,633
うち事業所税					皆増 236,093
地 方 譲 与 税	145.2%	40.0%	98.4%	89.2%	100.5%
	3,640,316	1,457,335	1,433,430	1,278,194	1,284,144
利 子 割 交 付 金	71.9%	129.2%	107.5%	81.9%	94.5%
	179,703	232,175	249,672	204,414	193,213
配 当 割 交 付 金	148.9%	115.5%	44.3%	76.2%	119.8%
	200,027	231,081	102,432	78,091	93,534
株式等譲渡所得割交付金	93.0%	89.4%	19.9%	113.7%	76.4%
	197,566	176,545	35,051	39,854	30,453
地方消費税交付金	104.0%	98.3%	94.2%	108.2%	99.8%
	3,040,440	2,989,911	2,815,636	3,046,168	3,040,936
ゴルフ場利用税交付金	96.0%	102.2%	97.1%	97.8%	101.0%
	97,842	99,947	97,054	94,953	95,913
自動車取得税交付金	99.0%	94.0%	90.4%	53.6%	91.5%
	762,890	717,325	648,213	347,336	317,718
地方特例交付金	90.9%	25.3%	170.1%	102.2%	74.4%
	1,578,349	399,135	679,061	694,124	516,518
地 方 交 付 税	46.6%	87.7%	72.8%	137.7%	154.8%
	1,832,060	1,607,458	1,169,468	1,610,781	2,493,344
うち普通交付税	28.4%	102.7%	47.7%	214.2%	199.9%
	786,908	807,954	385,604	825,917	1,651,021
うち特別交付税	89.9%	76.5%	98.4%	100.1%	107.3%
	1,045,152	799,504	783,864	784,864	842,323

## (決算ベース)

(単位 千円)

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (11月補正後)	平成28年度 (当初予算)
104.2%	100.4%	98.3%	101.4%	98.8%	102.2%
61,867,325	62,144,224	61,059,837	61,898,681	61,155,900	62,522,600
99.8%	105.3%	101.0%	101.0%	99.7%	102.0%
17,311,030	18,220,809	18,400,686	18,586,195	18,525,500	18,887,100
106.9%	98.7%	96.8%	108.6%	89.4%	98.3%
5,598,472	5,527,455	5,350,164	5,811,095	5,192,300	5,104,400
98.6%	97.7%	95.8%	100.5%	100.1%	103.1%
30,979,306	30,280,005	28,996,817	29,135,302	29,176,500	30,079,700
1055.0%	111.7%	98.5%	103.5%	100.7%	107.8%
2,490,765	2,782,646	2,740,777	2,835,997	2,856,400	3,080,400
101.4%	93.5%	97.6%	98.3%	95.1%	106.3%
1,302,055	1,217,171	1,187,749	1,167,687	1,110,001	1,180,001
94.2%	78.1%	104.0%	79.6%	110.5%	69.2%
182,091	142,180	147,849	117,667	130,000	90,000
108.5%	110.9%	197.3%	185.5%	72.8%	100.0%
101,475	112,584	222,135	411,969	300,000	300,000
82.1%	112.1%	1,327.8%	63.4%	127.1%	90.0%
25,009	28,029	372,161	235,986	300,000	270,000
101.8%	101.1%	99.1%	119.7%	140.9%	108.2%
3,095,228	3,128,067	3,101,408	3,711,751	5,231,000	5,660,000
101.9%	98.2%	100.9%	96.9%	95.8%	100.0%
97,777	96,037	96,943	93,898	90,000	90,000
84.0%	117.1%	109.6%	36.8%	114.2%	145.8%
266,774	312,434	342,552	126,134	144,000	210,000
127.5%	29.2%	98.5%	96.4%	104.3%	103.3%
658,532	192,593	189,717	182,913	190,772	197,000
113.0%	97.7%	105.2%	88.0%	91.4%	64.3%
2,818,424	2,752,606	2,896,857	2,550,279	2,331,829	1,500,000
117.8%	95.5%	112.5%	83.8%	87.5%	56.8%
1,944,240	1,856,109	2,088,363	1,749,810	1,531,829	870,000
103.8%	102.6%	90.2%	99.0%	99.9%	78.8%
874,184	896,497	808,494	800,469	800,000	630,000

上段は対前年度比

# 地方債年度末

年度		22決算	23決算	24決算	25決算	26決算
区分						
普通 会計	一般会計	92,581,596	87,503,991	80,643,109	75,627,184	72,817,345
	うち減税補てん債 (借換債含む)	7,117,782	6,050,036	4,967,441	3,871,182	3,089,870
	うち臨時財政対策債	25,703,058	26,668,728	26,901,310	27,803,701	26,706,085
	特別会計					
	土地区画整理事業	2,500,023	2,150,188	1,796,251	1,448,777	1,116,413
	住宅新築資金等 貸付事業	33,789	28,631	21,359	18,690	15,911
	公共用地取得事業 (都市下水路分)	4,403,590	3,178,090	2,013,580	1,177,800	474,720
	計	100,023,924	93,331,157	84,909,472	78,672,119	74,788,127
	うち合併特例債 (基金造成含む)	11,726,407	12,056,877	11,632,675	11,899,043	13,574,880
	準 公 営 企 業 公 司	食肉センター 食肉市場事業	1,527,106	1,416,915	1,291,685	1,179,031
農業集落排水事業		1,936,138	1,898,403	1,909,402	2,021,365	2,128,337
計		3,463,244	3,315,318	3,201,087	3,200,396	3,210,620
企 業 公 司	水道事業	17,364,861	17,084,036	16,656,588	16,154,032	15,574,935
	市立四日市病院事業	2,983,779	6,179,349	8,637,759	10,206,767	11,299,817
	下水道事業	93,003,999	90,350,269	87,549,187	86,723,487	85,664,146
	計	113,352,639	113,613,654	112,843,534	113,084,286	112,538,898
重複分		504,926	470,257	435,173	399,668	363,738
合計		216,334,881	209,789,872	200,518,920	194,557,133	190,173,907

# 現在高の推移

(単位 千円)

27見込	28当初予算				
	償還元金	償還利子	元利合計	発行額	残高
74,206,698	8,678,024	793,287	9,471,311	4,763,900	70,292,574
2,674,722	422,085	30,612	452,697		2,252,637
26,744,535	2,040,964	228,009	2,268,973	830,000	25,533,571
860,062	241,280	13,147	254,427		618,782
13,016	3,014	481	3,495		10,002
327,375	36,802	4,235	41,037		290,573
75,407,151	8,959,120	811,150	9,770,270	4,763,900	71,211,931
11,630,872	1,918,961	88,034	2,006,995		9,711,911
1,024,590	133,086	17,371	150,457	88,300	979,804
2,062,702	89,533	39,401	128,934		1,973,169
3,087,292	222,619	56,772	279,391	88,300	2,952,973
15,229,143	923,546	344,440	1,267,986	717,000	15,022,597
11,598,910	938,076	137,045	1,075,121	1,499,600	12,160,434
85,090,740	5,459,351	1,815,521	7,274,872	3,811,000	83,442,389
111,918,793	7,320,973	2,297,006	9,617,979	6,027,600	110,625,420
327,375	36,802	4,235	41,037		290,573
190,085,861	16,465,910	3,160,693	19,626,603	10,879,800	184,499,751

## 一般会計歳出予算【部局別】

(単位：千円、%)

区 分		平成28年度当初	平成27年度当初	増減額	伸率
部 局	A	B	A - B	C	C / B × 100
危機管理監	734,405	558,369	176,036		31.5
政策推進部	2,985,058	3,101,294	△ 116,236		△ 3.7
総務部	4,899,909	5,264,468	△ 364,559		△ 6.9
財政経営部	20,553,312	20,651,201	△ 97,889		△ 0.5
市民文化部	2,821,199	2,136,794	684,405		32.0
健康福祉部	16,496,290	16,264,352	231,938		1.4
子ども未来部	19,240,672	17,228,820	2,011,852		11.7
商工農水部	4,463,857	4,986,517	△ 522,660		△ 10.5
環境部	4,850,001	17,320,156	△ 12,470,155		△ 72.0
都市整備部	8,075,838	8,285,727	△ 209,889		△ 2.5
会計管理室	31,187	27,741	3,446		12.4
議会事務局	679,450	752,023	△ 72,573		△ 9.7
選挙管理委員会	189,814	234,954	△ 45,140		△ 19.2
監査事務局	88,880	92,650	△ 3,770		△ 4.1
教育委員会	9,677,758	8,340,952	1,336,806		16.0
消防本部	4,331,650	5,024,516	△ 692,866		△ 13.8
企業補助費等 企業会計に対する	上下水道局	7,371,902	7,131,988	239,914	3.4
	市立四日市病院	1,196,869	987,478	209,391	21.2
合 計	108,688,051	118,390,000	△ 9,701,949		△ 8.2

# 部局別予算説明資料

## 危機管理監

### 新年度予算における基本的な方針

東日本大震災から約5年が経過する中、三重県の新たな被害想定を受け、見直しを実施した地域防災計画に基づき、近い将来に発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の災害から市民の生命と財産を守るため、防災・減災対策を最重点課題とし、個別具体の取り組みの推進が急務である。

そこで、自主防災活動の推進・人材育成のほか、防災施設の整備を強化する。また、木造住宅や緊急輸送道路沿いの建築物の耐震化を促進する。

### 1. 地域防災力向上支援の促進について

住民の自助・共助の取り組みを促進するため、地域の防災組織が行う防災・減災に対する取り組み支援や人材育成・活用を継続する。

【主な事業】	地域防災力向上支援事業	30,275千円
--------	-------------	----------

### 2. 防災対策の推進及び危機管理体制の整備について

地域防災計画に基づき、総合防災拠点の用地取得及び市域の拠点となる防災倉庫の建設を推進するほか、新たに調理用の水の確保等、災害備蓄の充実を図る。

さらに、災害発生後の避難生活に備え、生活用水の確保のための防災井戸の設置や、マンホールトイレを配備する。また、木造住宅の無料耐震診断や耐震補強計画策定・工事費等への補助を実施するとともに、地震時に通行を確保すべき道路沿いの建物の耐震補助を実施し、耐震化を促進する。

【主な事業】	総合防災拠点整備事業	291,700千円
	防災倉庫整備事業	184,350千円
	避難施設等整備事業	
	防災井戸等整備	1,700千円
	マンホールトイレ配備	2,000千円
	住宅等耐震化促進事業	150,466千円

# 総合防災拠点整備事業

## 1. 目的

大規模災害時に、災害対策本部との連携や全国からの救援物資の受入、消防・自衛隊等の受援拠点となるほか、応急仮設住宅用地への活用可能な総合防災拠点の整備を図る。

## 2. 内容

### (1) 整備箇所

寺方町及び曾井町地内 約 25,000 m<sup>2</sup>



### (2) 主な役割・活用概要

#### ①災害対策本部との連携拠点

・災害対策本部一時退避時の公用車及び非常参集職員の駐車スペース 約 5,000 m<sup>2</sup>

#### ②救援物資の受入れ拠点

・全国からの救援物資の第1次受入れ拠点、市内3カ所の拠点防災倉庫へ輸送する物資の荷捌き場所等 約 10,000 m<sup>2</sup>

#### ③消防・自衛隊等の受援拠点

・支援部隊のオープンスペース、災害対応車両の集結・野営場所、提携都市や災害ボランティア等の集結場所 約 10,000 m<sup>2</sup>

#### ④応急仮設住宅用地

・県地震被害想定結果による応急仮設住宅建設予定地 約 20,000 m<sup>2</sup>



### (3) 事業内容

用地取得、用地測量、地質調査

### (4) 整備スケジュール

平成 28 年度	平成 29 年度以降
用地取得 用地測量 地質調査	実施設計 造成工事

## 3. 予算額 291,700千円 (財源内訳) 一般財源291,700千円 (前年度12,700千円)

担当 危機管理監 危機管理室  
石川  
TEL 354-8119

# 防災倉庫整備事業

## 1. 目的

災害時に、各地区の指定避難所へ迅速に救援物資を配送するため、荷捌き機能を有する拠点防災倉庫を、既存の安島防災倉庫（中部）に加え、新たに市内2カ所（南部・北部）に整備する。

このうち、南部については、（仮称）南部拠点防災倉庫の建設工事を行い、北部については、（仮称）北部消防分署・拠点防災倉庫の実施設計を、消防本部を事業主体として行う。

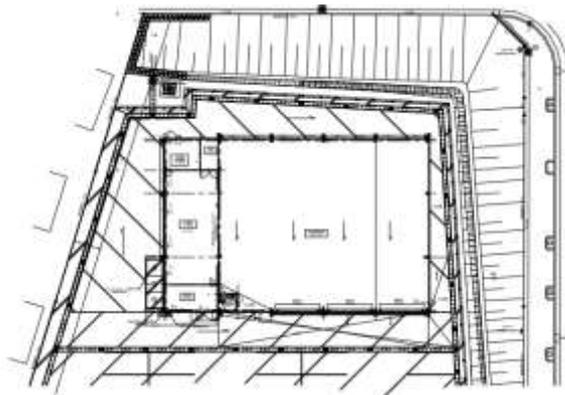
また、拠点防災倉庫の整備にあわせて、本市の地域防災計画で想定する避難者等に対する備蓄食料の不足分など、必要な備蓄物資を配備する。

## 2. 内容

### (1) 事業概要

#### ①（仮称）南部拠点防災倉庫建設工事

- ・整備場所 波木町 2080 番 地内
- ・事業費 建設工事、工事監理業務委託費 157,000千円



#### （仮称）南部拠点防災倉庫の概要

- ・用地面積: 約 3,446 m<sup>2</sup>
- ・施設概要: 鉄骨造平屋建約 600m<sup>2</sup>
- ・用途: 支援物資の保管・荷捌きスペース、事務室等
- ・役割: 災害時、主に南消防署管内の指定避難所に全国からの救援物資の荷捌き、配送を実施。

#### ②整備スケジュール

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
（仮称）南部拠点 防災倉庫	基本調査 候補地選定	造成工事 実施設計	建設工事	運用開始

### (2) 備蓄品の配備

27,350千円

- ・アルファ米調理用水 21,900 ㍓ (上下水道局より 500ml 入 43,800 本を購入予定)
- ・飲料水用ウォータータンク 350 ㍓ 177 ロット 毛布 粉ミルク他

3. 予算額 184,350千円 (財源内訳) 県支出金 910千円  
(前年度 51,300千円) 市債 137,700千円  
一般財源 45,740千円

担当 危機管理監 危機管理室  
石川・柴田  
Tel 354-8119

# 住宅等耐震化促進事業 (沿道建築物耐震化促進事業)

## 1. 目的

三重県耐震化促進計画の一部改正に伴い、地震時に通行を確保すべき道路として、平成27年12月26日付で、県内の第1次緊急輸送道路が指定されたことから、沿道建築物の耐震化を促進するために、対象となる建築物の耐震診断費用の補助事業を、国、県との協調補助により行う。

## 2. 内容

※指定がおこなわれると・・・(耐促法第10条)

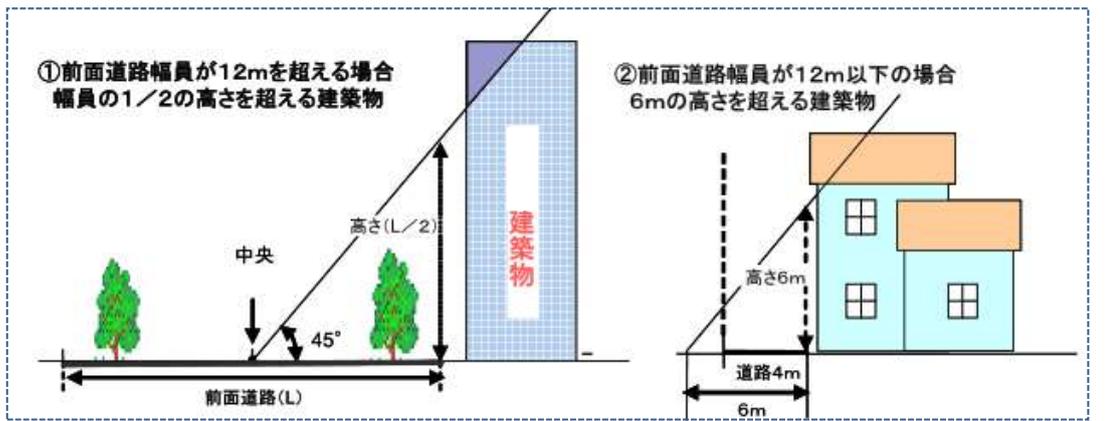
- ・第1次緊急輸送道路沿道で、対象となる建築物の所有者は、期限(平成33年3月1日)までに耐震診断を行い、結果を報告しなければならない。
- ・市はその結果を公表しなければならない。
- ・地方公共団体は診断に要する費用を負担しなければならない。

**負担割合** 国 1/2 県 1/4 市 1/4

※国 1/2 のうち 1/6 は建築物の所有者へ直接交付

○耐震診断義務化の対象となる建築物(以下の全てに該当するもの)

- ・第1次緊急輸送道路の沿道建築物で、S56.5.31以前に建築されたもの
- ・建築物の高さが下図に該当するもの



- ・対象建築物 43棟(うち未診断39棟)
- ・補助総額は161,174千円で、H28～H32の5年間で事業完了
- ・年間補助額36,000千円のうち直接補助6,000千円(国1/6)、  
間接補助30,000千円【内訳 12,000千円(国1/3) 9,000千円(県1/4) 9,000千円(市1/4)】

3. 予算額 30,000千円 (財源内訳) 国支出金 12,000千円  
 県支出金 9,000千円  
 一般財源 9,000千円

担当 危機管理監 危機管理室  
 石川  
 TEL 354-8119

# 政 策 推 進 部

## 新年度予算における基本的な方針

2020年度までの総合計画に掲げられた目指すべき都市像の実現に向けて、重点的な施策の全庁的な展開を図る。特に、「四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策については、本市の強みを生かした地方創生の推進に向けて、具体的な取り組みを進める。

また、都市の規模・能力に見合った権限及び財源を有した基礎自治体として、市民に身近な行政サービスをより一層効率的に提供し、都市機能の充実も図るべく、中核市移行に向けて取り組みを進める。

広報に関し、各種媒体の特性を最大限活用することで、市民等へのより効果的な情報提供を展開する。広聴に関しては、具体的な施策に反映できるよう、市政アンケートをはじめ、多様な手段で市民ニーズを的確に把握するよう努める。

また、首都圏を中心に、本市の魅力発信や地元製品のPRなど、シティプロモーションのより一層の強化を図るとともに、経済界や中央省庁との連絡調整を緊密に行い、効果的な取り組みを行う。

## 1. 総合計画の推進について

「四日市市総合計画（2011年度～2020年度）」に基づく第2次推進計画（平成26～28年度）については、「四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業も加え、計画期間の最終年度として、着実な推進を図る。第2次推進計画の平成27年度事業実施分については、外部の視点からの評価・検証を行う。加えて、平成29～32年度の4年間を計画期間とする第3次推進計画の策定を進める。

また、意欲ある職員からの政策提案など、柔軟な発想から生まれる斬新なアイデアを政策形成に活かしていく。

【主な事業】	総合計画推進事業	4,800千円
	政策評価検証事業	442千円

## 2. 中核市移行の推進について

産業廃棄物不適正処理事案については、国の「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」（産廃特措法）に基づく支援を受け、三重県が対策工事を実施しているが、本市が中核市に移行した場合の、県の財政負担の担保や人的・技術的支援の具体的手法に関して、対策工事の進捗を見極めつつ、県との協議を進めていく。

【主な事業】	中核市移行推進事業	800千円
--------	-----------	-------

### 3. 市制施行120周年記念事業の推進について

本市は、平成29年8月1日に市制施行120周年を迎える。120周年の節目にあたり市民、企業、行政が一体となった全市的な取り組みを進めるべく、啓発活動を行い、より広くPRに努めるとともに、記念事業のコンセプトや実施内容等の検討を行うため、実行委員会準備会を設置する。

【主な事業】 市制施行120周年記念事業推進費 2,000千円

### 4. 国際交流の推進について

友好都市天津市とは、平成27年(2015年)に提携35周年を機に両市の間で交わした記念宣言書に基づき、市民レベルの交流事業を具体化させるため協議を進めるとともに、四日市・天津経済交流センターが取り組む各種事業の支援を行う。また、姉妹都市ロングビーチ市へ交換学生・教師の派遣等を通して交流を深める。

一方、「四日市市産業活性化戦略に関する提言書」に明示されている中小企業の海外展開を促進するための戦略的姉妹都市提携に向け、本市と経済交流を行う海外都市について、東南アジア(ベトナム、インドネシア、タイ)の3カ国の中から具体的な候補都市の絞り込みに向けた調査・検討を行う。

なお、調査・検討にあたっては、商工農水部が進める中小企業の海外展開への支援とも連携した取り組みを進めていく。

さらに、市内企業を対象とした実践的英語教育を実施することで、グローバル人材育成支援の充実を図る。

【主な事業】 姉妹友好都市交流事業 8,668千円  
国際経済交流等調査事業 2,200千円  
市内企業グローバル人材育成支援事業 2,500千円

### 5. 四日市港の整備促進について

本市の産業を物流面から支える四日市港は、エネルギー資源等のバルク、完成自動車、コンテナのすべてを扱う「国際産業ハブ港」として、機能の充実を図る必要がある。中でも臨港道路霞4号幹線は、貨物輸送の定時性・即時性の確保や、環境負荷の低減、災害時におけるリダンダンシーの確保等に繋がるものであり、平成29年度完成に向けた整備促進を図る。

また、積極的なポートセールスによる航路誘致・集荷促進対策など、国際物流機能の強化に向けた取り組みも推進する。

さらに、海岸保全施設の耐震・老朽化対策など、安全・安心な市民生活の確保に向けた港湾整備の促進を図る。

一方、本市のまちづくりと一体となった港づくりに向けて、「末広橋梁」や

「潮吹き防波堤」などの産業観光資源を活かした取り組みを始め、四日市港を訪れる人々にとって親しみのある港湾空間の提供や港とふれあう機会の創出に努める。

【主な事業】 四日市港管理組合負担金 1, 409, 351千円

## 6. 広報施策の推進について

広報紙や市ホームページ、市政情報等提供番組などの各種広報媒体を効果的に活用し、市の施策などを市民に分かりやすく伝えるための取り組みを行う。なお、平成28年度から「広報よっかいち」の特集記事とテレビ番組との連動や市内外に向けた情報発信など、テレビ番組による広報の充実を図る。

また、AR（拡張現実）機能の活用や既存の広報媒体との連動などを行うことで、幅広い世代の市民が市政に興味を持ち、市の魅力を再発見できるような手法も継続して実施していく。

【主な事業】 広報刊行物発行費 73, 054千円  
AR（拡張現実）機能活用事業 1, 800千円

## 7. 広聴施策の推進について

20歳以上の市民5,000人を対象に毎年1回実施している「市政アンケート」や、インターネットを利用した市民アンケート「市政ごいけんばん」を有効活用し、行政上の課題や市民生活上の問題点などについて、市民の意識や要望などをより幅広く的確に把握するよう努める。

「市政アンケート」については、選挙年齢の引き下げを踏まえ、対象年齢を18歳以上に引き下げるとともに、新たにインターネットからも回答できるようにシステムの構築を行い、利便性の向上を図る。

【主な事業】 広聴活動事業 3, 630千円

## 8. シティプロモーションの推進について

首都圏における注目度の高いエリアで、本市が有する優れた地域資源や特色ある行政施策等を紹介・活用した魅力発信イベントを開催し、都市イメージの向上と首都圏からの交流・定住の促進につなげていく。

また、首都圏において活躍されており、本市にもゆかりのある地域活性化アドバイザーを活用して、産業の高度化や活性化、文化・芸術のまちづくり、都市イメージの向上に資する各種施策の展開へつなげていく。

【主な事業】 シティプロモーション推進事業 4, 000千円

## 市制施行120周年記念事業推進費

### 1. 目的

平成29年8月1日に、本市が市制を施行して120周年を迎える。

120周年の節目にあたり市民、企業、行政が一体となった全市的な取り組みを進めるべく、啓発活動を行うとともに120周年に向けた機運を高める。

### 2. 内容

平成27年度は、キャッチコピーを公募し選定するとともに、シンボルマークを制作した。120周年の前年となる平成28年度においては、市民に向けた啓発活動を行う等、より広くPRに努めるとともに、記念事業のコンセプトや実施内容等の検討を行うため、実行委員会準備会を設置する。

#### (1) 実行委員会準備会の設置 845千円

学識経験者、市民団体等によって構成される実行委員会準備会を設置する。幅広く意見を求める中で、120周年に向けた記念事業のコンセプトの制定、記念事業の計画を策定する。

#### (2) 市制施行120周年啓発 1,155千円

市が主催する各種イベントを活用する中で啓発物品等を配布する等PRに努める。

### 3. 予算額 2,000千円 (財源内訳) 一般財源 2,000千円 (前年度 700千円)

《参考：平成27年度において選定した市制施行120周年キャッチコピー》

「120年の絆、これからもずっとこの街で—四日市。」

担当 政策推進部 政策推進課  
位田  
TEL 354-8112

# 国際交流事業

## 1. 目的

米国ロングビーチ市、中国天津市との交流事業を通じ、市民の国際理解を深めるとともに両市との友好親善を図る。また、中小企業の海外展開を促進するため、国際経済交流に関する調査・検討を進める。

## 2. 内容

### (1) ロングビーチ市との交流事業

予算額 4,590千円

昭和40年(1965年)から、夏休みを利用した交換学生(高校生)2名、教師1名(通称トリオ)の相互派遣を行っている。平成28年度は本市からトリオを派遣し、ホームステイをしながらアメリカの日常生活や文化に触れるとともに、親善大使として本市の紹介や各種行事への参加を通して市民と交流を深める。また、ロングビーチ市等からの訪問団の受入れを行うほか、本市の情報発信も行う。

### (2) 天津市との交流事業

予算額 4,078千円

平成27年(2015年)に友好都市提携35周年を迎え、両市の間で記念宣言書を交わしており、それに基づき市民レベルの交流事業を具体化するための協議や天津市からの訪問団の受入れを行う。

### (3) 国際経済交流の推進

予算額 2,200千円

「四日市市産業活性化戦略に関する提言書」に示されている中小企業の海外展開を促進するための戦略的姉妹都市提携に向け、本市と経済交流を行う海外都市について、東南アジア(ベトナム、インドネシア、タイ)の3カ国の中から具体的な候補都市の絞り込みに向けた調査・検討を進める。

なお、調査・検討にあたっては、商工農水部が進める中小企業の海外展開への支援とも連携した取り組みを進めていく。

**3. 予算額** 10,868千円 (財源内訳) 一般財源 10,868千円  
(前年度 25,071千円)

担当 政策推進部 秘書課  
大野  
TEL 354-8097  
政策推進部 政策推進課  
矢澤  
TEL 354-8112

# 市内企業グローバル人材育成支援事業

## 1. 目的

市内企業の海外への事業展開を促進するために、国際交流基金を活用して、平成27年12月より実践的な英語教育を実施している。平成28年度も継続し実施することで、英語力の定着を目指すとともにグローバル人材育成支援の充実を図る。

## 2. 内容

中小企業においては、大企業のような体系的な人材育成プログラムを持っていないことが多く、海外事業展開を推進する企業において、グローバル人材の育成が課題となっている。

そのため、中小企業をはじめとする市内企業を対象として、海外赴任者が現地で円滑に職務を遂行するために最も必要とされている実践的な英語教育を実施し、グローバル人材育成を支援することにより市内企業の海外事業展開の促進を図る。

### ・ 語学研修実施委託

- 内 容 : ビジネス英語（初級～上級）
- 対象者 : 市内企業に勤務する者
- 募集人員 : 25名程度 ※1クラス5名程度の少人数制
- 募集期間 : 5月～6月
- 応募方法 : 応募用紙を提出又は郵送 ※応募多数の場合は抽選
- 時 期 : 7月～3月の9か月間  
※5クラス×30コマ（計150コマ）
- 場 所 : 市内語学学校ほか
- 実施方法 : 市内語学学校へ委託

3. 予算額 2,500千円（財源内訳） その他特財 2,500千円  
(前年度 0千円) (国際交流基金繰入金)  
(平成27年8月補正後1,500千円)

担当 政策推進部 秘書課  
宮原、大野  
TEL 354-8097

## シティプロモーション推進事業【地方創生】

### 1. 目的

首都圏における四日市の魅力発信や地元製品のPRを行い、継続的な情報発信に努めるとともに、四日市市ゆかりの人材を活かして地域活性化アドバイザーを委嘱するほか、本市出身の方々などと協働して本市の地域活性化や都市のイメージ向上に取り組んでいく。

### 2. 内容

(1) シティプロモーション事業 2, 200千円

首都圏における注目度の高いエリアで、本市が有する優れた地域資源や特色ある行政施策等を紹介・活用しながら、物産・観光PR、地元製品の販路開拓、都市としての住みやすさなど、本市の魅力を発信するイベントを開催し、都市イメージの向上と首都圏からの交流・定住の促進につなげていく。

(2) 地域活性化アドバイザー事業 1, 800千円

首都圏において活躍されており、本市にもゆかりのある方の中から委嘱する地域活性化アドバイザーの活用を図りながら、産業の高度化や活性化、文化・芸術のまちづくり、都市イメージの向上などに資する各種施策の展開へつなげていく。

3. 予算額 4, 000千円 (財源内訳) 一般財源 4, 000千円  
(前年度 4, 000千円)

担当 政策推進部 東京事務所  
清水、児玉  
TEL 03-3263-3038

# 総 務 部

## 新年度予算における基本的な方針

一人ひとりの人権が尊重されるまちを目指し、人権・同和行政についての各種の答申を踏まえた施策の推進を図る。

また、公正かつ効率的な行政運営を推進するため、法務、文書管理や入札契約制度、工事検査などの各種の内部管理業務を適切に執行する。

職員の育成については、市民から信頼される市政の実現を図るため、市民の視点に立ち、自主・自立の精神で積極果敢に行動できるよう、時代の変化に適応した職員の職務遂行能力の向上に資する研修を実施する。

情報化推進では、システム安定運用の維持に努めるとともに、社会保障・税番号制度の情報連携に向けた連携テスト等を実施する。

## 1. 人権施策の推進について

平成16年3月の四日市市同和対策委員会からの答申「今後の同和行政のあり方について」や平成19年8月の四日市市同和行政推進審議会からの答申「今後の同和行政のあり方について(答申)の具体化を図るための仕組みについて」及び人権施策推進プランなどを踏まえ、すべての人が自分らしい生き方のできる社会となるよう施策の推進を図る。

さらに、地域における人権教育・啓発・学習の拠点である人権プラザの利便性、安全性の向上を図るため、施設の改修を行い、市民利用を促進する。

【主な事業】	人権教育・啓発推進事業	14,140千円
	人権相談体制強化事業	1,040千円
	人権啓発リーダー養成事業	1,728千円
	人権プラザ就業支援事業	4,156千円
	人権活動拠点施設整備事業	50,721千円

## 2. 職員研修の充実について

階層別研修では、市民に信頼される行政運営の実現を図るため、接遇研修や市民協働等の行政課題に対応した研修を実施するとともに、法令遵守及び公務員倫理研修を継続して実施することにより内部統制機能を保持する。また、階層・年代に応じた能力を養成する研修を実施する。

建設技術系職員研修では、高い専門性が求められる建設技術系職員の知識、

技術力等の向上を図るため、主に若手職員を対象とした研修を実施していく。

特別研修では、組織として効率的な行財政運営を進め、市民とのパートナーシップを形成するため、専門性にも配慮した研修を実施する。また、メンタルヘルス研修を引き続き実施し、併せて円滑な職務遂行を支援する。

さらに、派遣研修では、自治大学校、市町村アカデミー、技術系職員研修機関等の外部研修機関へ積極的に職員を派遣する。

【主な事業】	階層別研修費	7, 845千円
	建設技術系職員研修費	1, 222千円
	特別研修費	2, 483千円
	派遣研修費	7, 577千円

### 3. 情報化の推進について

住民情報システムを始めとする窓口業務を支援するシステム及び行政内部事務の効率化を図る行政内部システムの安定運用に努める。

社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）で平成29年7月から開始予定の他自治体との情報連携に向け、情報提供ネットワークシステムとの連携テストや総合運用テストを行う。

【主な事業】	窓口支援システム保守運用	177, 016千円
	行政内部のIT化事業	50, 445千円
	行政内部のIT基盤整備	330, 511千円
	行政サービスのIT化事業	39, 389千円
	番号制度関連システム改修	13, 545千円

### 4. 入札契約制度について

入札契約の透明性、公正性及び競争性を高めることを基本理念として、適正な入札契約制度による執行を行う。

契約にあたって、総合評価方式等も含めた適正な契約方法の採用、適正な仕様及び納期等の契約条件の設定、過度な競争への対応等により、健全な競争環境の確保に努める。

また、契約の履行にあたっては、従事する労働者の適正な労働条件の確保及び事業の質の向上を図るための取り組みを行う。

## 5. 工事検査について

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が平成17年4月1日に施行され10年が経過するが、発注者の責務として工事中及び完成時の履行状況の確認及び評価を適切に実施することがより一層求められている。このため、施工途中における監督職員の段階確認を確実に実施するよう指導に努め、適正な履行を確認するための工事検査を行うとともに、受注者の技術能力を測る指標のひとつとして、適切な評価を与える。

なお、完成検査時に検測や確認のできない不可視部分の出来形や品質については、随時検査を実施し、品質確保の観点から指導を行う等、より充実した内容とする。

## 6. 参議院議員通常選挙及び市長選挙の執行について

選挙権年齢が18歳以上になる参議院議員通常選挙（平成28年7月25日任期満了）及び市長選挙（同年12月23日任期満了）を、適正かつ確実に執行する。

【主な事業】	参議院議員選挙費	72,574千円
	市長選挙費	83,721千円

# 人権教育・啓発推進事業

## 1. 目的

市内各地域における住民の人権啓発活動に対する支援や、全市的な人権啓発活動である「じんけんフェスタ」の充実を図る。また、地域の人権啓発活動を効果的に進めるため、人権教育・啓発推進プログラム事業を実施し、住民主体の人権啓発活動の推進を図り、本市における人権意識の向上を図る。

## 2. 内容

(1) 市民人権活動支援事業 9,800 千円  
積極的に人権啓発活動を展開している各地区人権・同和教育推進協議会等への活動を支援するとともに、人権に関する全国規模の研究会、研修大会への市民の参加を支援する。

①各地区人権・同和教育推進事業

各地区人権・同和教育推進協議会や各ブロック協議会がそれぞれの地域、及び複数の地域を対象として実施する教育・啓発・広報活動・交流活動等の委託

②市民人権学習支援事業

全国規模の研究会、研修大会（現在 16 種類）への参加経費（参加費、交通費、宿泊費）の一部補助（一般：1/2、学生：4/5）

(2) 人権教育・啓発推進プログラム事業 1,200 千円  
人権教育・啓発活動における指導的役割を担える人材育成や各種の人権啓発活動に寄与するため、人権に関する教材等の作成を行う。

(3) 人権フェスタ事業 3,140 千円  
12 月の人権週間に合わせて、広く市民に対して人権を考える機会として、人権講演会や、市内人権啓発活動団体の取り組み等を紹介する「じんけんフェスタ」を文化会館において開催する。

3. 予算額 14,140 千円 (財源内訳) 県支出金 877 千円  
(前年度 14,140 千円) その他特財 2,470 千円  
(まちづくり事業基金繰入金)  
一般財源 10,793 千円

担当 総務部 人権センター  
森  
TEL: 354-8157

# 財 政 経 営 部

## 新年度予算における基本的な方針

四日市市総合計画の「第2次推進計画(平成26～28年度)」の最終年度として、推進計画事業を着実に実施するとともに、その下支えとなる「四日市市行財政改革プラン2014(平成26～28年度)」に掲げる改革事項の達成に向けて取り組みを進め、中期的な視野のもと、健全で持続可能な財政運営に努める。

歳入の根幹をなす市税については、必要な財源を確保するため、引き続き課税対象の的確な把握に努め、市民負担の公平性の観点から適正な課税を行うとともに、収納率の向上を図る。さらに、税制度への納税者の十分な理解が得られるよう周知・広報を徹底しながら、自主納付の推進と効果的かつ効率的な滞納整理に取り組むことにより、累積滞納額の削減に努める。

また、本市が保有するすべての公債権及び私債権についても、債権管理基本方針に基づき、債権管理推進本部を中心にして、組織的かつ横断的な調整を行いながら、各債権所管課が主体的に滞納整理に取り組み、効果的な回収に努める。

市が保有する財産については、適正な管理を実施するとともに、不要な資産の売却や有効活用を図る。また、四日市市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の計画的な予防保全や適正な維持管理に努め、施設の長寿命化や維持管理コストの削減を図る。

### 1. 健全な財政運営の推進について

総合計画の推進計画を着実に推進していくため、「四日市市行財政改革プラン2014」に掲げる財政運営の指針に基づき、健全な財政運営に努める。

また、市民ニーズや社会構造の変化に的確かつ機動的に対応し、最小の経費で最大の効果が得られるよう事業の見直しや経常経費の抑制に取り組み、持続可能な財政運営を押し進める。

【主な事業】 財政管理経費 9, 169千円

### 2. 行財政改革等の推進について

最終年度となる「行財政改革プラン2014」の各改革項目の着実な進捗管理を図ることにより、行財政改革を推進する。また、その成果の検証を踏まえ、次期推進計画の策定にあわせて新たな行財政改革プランを策定する。

指定管理者制度の運用については、適正な指定管理者の公募・選定を実施するとともに、引き続き指定管理者モニタリングを適正に実施する。

【主な事業】 行財政改革推進費 2, 297千円

### 3. 市税の賦課徴収について

#### (1) 土地評価業務

平成 30 年度評価替えに向け、本市における開発等に伴う環境の変化、道路や下水道の敷設状況等の変化を調査・数値化し、評価替え年に使用する路線価に反映する。

また、評価替えの基準日として定められる平成 29 年 1 月 1 日現在の標準宅地における鑑定評価を行い、適正な評価による課税を図る。

【主な事業】 土地評価関係経費	48,388 千円
評価替土地関係経費	51,475 千円

#### (2) 市税自主納付の推進と滞納額の削減

市税収納については、個人住民税特別徴収や口座振替の加入促進事業を実施し、引き続き自主納付、納期内納付の推進を図る。

滞納額の削減のため、市税滞納については、滞納初期の段階で納付交渉を行い、納付困難な場合には生活状況に応じたきめ細かい納付相談を行うとともに、所管課から移管を受けた税外債権とあわせ引き続き効果的な滞納整理を実施する。

【主な事業】 自主納税推進経費	15,001 千円
税外債権滞納整理事業費	6,803 千円

### 4. 適正な債権管理について

関係部局で組織する債権管理推進本部を中心に、目標設定や取組状況に関し、年間を通じて進捗管理を行い、関係課に配置する債権管理推進員と連携し、それぞれの課題解決に向けて検討、協議しながら、効率的かつ効果的な回収に取り組み、全庁的に適正な債権管理の推進を図る。

### 5. 四日市市ふるさと応援寄附金について

ふるさと納税制度を本市をアピールする好機と捉え、「感謝の気持ち」（お礼の品）の拡充を図るとともに、寄附手続きの簡素化により寄附者の利便性を向上させることで、本市を応援いただける寄附者の増加につなげる。

【主な事業】 四日市市ふるさと応援寄附金関連経費	9,632 千円
--------------------------	----------

### 6. 市庁舎等の適正な管理運営の強化

市庁舎等の施設を適正に維持管理すべく、引き続き計画的な施設整備を実施する。市庁舎（6～11 階）の LED 化を図り、光熱水費等の維持管理経費の節減に努めるとともに、市庁舎（1～7 階）に防犯カメラを設置し、市庁舎のセキュリティ強化を図る。

【主な事業】 公共施設LED化推進事業費	41,500千円
市庁舎等管理運営費	423,673千円

## 7. 公共施設アセットマネジメントの推進

四日市市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設について計画的な予防保全工事により、施設の長寿命化と維持管理経費の削減を図る。

また、建築基準法改正に伴い、市庁舎の吊天井について崩落対策を実施する。

【主な事業】 市庁舎等整備事業費（アセットマネジメント）	60,400千円
------------------------------	----------

### （決算議会等の指摘に対する主な見直し事業）

#### ・ 補助金の適正化について

昨年度に策定した新補助金交付基準に基づき各補助事業の評価を行い、それを踏まえて当初予算編成を行った。また、補助金の執行に際しても、新補助金交付基準によるチェック・見直しを行い、補助金の適正化に努める。

#### ・ 適正な債権管理の推進について

引き続き、債権管理基本方針に基づき、各所管課の債権管理推進員と連携しながら、滞納整理の実施状況について「見える化」を図り、より適正な債権管理の取り組みを進めていく。

# 公共施設LED化推進事業費

## 1. 目的

公共施設においてLED化工事を実施し、維持管理経費(消費電力量)の抑制及び地球温暖化の防止を図る。

## 2. 内容

新築や改築等の工事を実施する際にLED照明器具を設置するほか、既存施設で「点灯時間が長い」または「照明器具が多い」など消費電力量が多く、LED化による効果が高いと見込まれる施設から順次、照明器具のLED化を推進していく。平成28年度は引き続き市庁舎の事務室及び廊下等についてLED化工事を実施する。

### ○ 市庁舎照明器具LED化工事

6～11階の事務室及び廊下等に設置している蛍光灯(約1,400灯)について、LED照明に交換する。

3. 予算額 41,500千円 (財源内訳) 一般財源 41,500千円  
(前年度 36,200千円)



既設照明器具 (蛍光灯 消費電力 90W 程度)

更新  
→



LED照明器具 (消費電力 30W 程度)

担当 財政経営部 管財課  
森  
Tel 354-8288

## 市庁舎等整備事業費（アセットマネジメント）

### 1. 目的

四日市市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設について計画的な予防保全工事により、施設・設備の長寿命化を図り、施設の維持管理経費の削減と財政負担の平準化を図る。

### 2. 内容

#### ① 予防保全工事

- 市庁舎ファンコイル等更新工事設計業務委託 1,500千円
- 総合会館ファンコイル更新工事設計業務委託 1,000千円
- 総合会館空調設備更新工事設計業務委託 1,100千円
- 総合会館外壁改修工事 43,800千円
- 本町プラザ空調設備更新工事設計業務委託 1,000千円

#### ② 天井崩落対策

建築基準法の改正に基づき、特定天井（天井高6m超の部分が面積200㎡超の吊天井）について崩落対策を実施する。

- 市庁舎天井崩落対策工事实施設計業務委託 12,000千円

3. 予算額 60,400千円 (財源内訳) 一般財源 60,400千円  
(前年度 95,300千円)



総合会館外壁改修工事



市庁舎天井崩落対策工事实施設計業務委託

担当 財政経営部 管財課  
森  
TEL 354-8288

## 四日市市ふるさと応援寄附金関連経費

### 1. 目的

本市の魅力を広くPRし、ふるさと納税制度を活用して本市を応援いただける寄附者を全国から募り、四日市市ふるさと応援寄附金の受け入れを行う。

### 2. 内容

(新) 寄附金募集における民間ポータルサイトの活用

(新) クレジット収納の導入

感謝の気持ち（お礼の品）の贈呈

PR・広報の実施

### 3. 予算額

9,632千円 (財源内訳) 一般財源 9,632千円

### 《参考：四日市市ふるさと応援寄附金の推移》

(単位：千円)

年 度	歳 入		歳 出		
	寄附件数	寄附金額	感謝の気持ち 贈呈経費	その他 経費	計
平成25年度	189件	1,282	909	89	998
平成26年度	741件	6,286	3,139	61	3,200
平成27年度 (12月末現在)	801件	7,526	3,218	147	3,365

担当 財政経営部 市民税課  
藤岡  
Tel 354-8131

# 市 民 文 化 部

## 新年度予算における基本的な方針

急速な少子高齢化や生活様式の多様化など、本市を取り巻く状況が大きく変化する中で、地域社会を支える地域コミュニティを維持・向上させていくため、地区市民センターを核として各種事業に取り組み、地域活動を活発化し、地域の絆づくりを進める。

また、本市の文化力を全国に発信するとともに、地域で大切に受け継いできた伝統芸能を始めとする市民の文化活動や文化交流の支援及び芸術文化活動の場の整備などに取り組み、文化の振興を図る。

窓口サービスについては、社会保障・税番号制度のもと個人番号カードの普及と適正な交付に努める。

あさけプラザについては、引き続き計画的に改修工事を行い、安全で快適な利用者に親しまれる場としていく。

さらに、市民一人ひとりが地域社会の構成員として互いの個性を認め合い、共に支えあって暮らすことができるよう、男女共同参画社会および多文化共生社会の実現を目指す。

## 1. 地域社会づくりについて

(1) 継続的で公益性のある市民活動に対する補助などの支援により、自治会、NPO、ボランティアをはじめとする市民活動団体の育成や活性化を図り、多様化する地域課題の解決につなげていく。

遊休化している旧東橋北小学校の一部を有効活用し、貸し館施設として利用できるよう改修工事を進め、施設の管理運営を行う。

市民協働によるまちづくりを進めるため、平成28年度から平成32年度を計画期間とする市民協働促進計画に掲げた取り組みを進める。具体的には、市民協働に関わるさまざまな主体の意識づくりと人材育成のための啓発や研修に取り組むほか、SNS等を活用して市民協働に関する情報発信、情報共有を図る。また、市民活動団体を育成・強化し、市民活動団体間の連携強化を図るための講座や協働委託を進める。さらに、市民活動の活性化を図るため、なやプラザの機能充実や既存の公共施設等の活用を進めるとともに、市民が選ぶ市民活動の支援のしくみづくりに取り組んでいく。

一方、福祉や防災、防犯などさまざまな分野における地域の特色ある活動に対しては、迅速に事業を執行するため、地区市民センター館長の権限で使える予算を引き続き全地区市民センターへ配分することで、地域コミュニテ

イの維持・拡充への支援をしていく。

(2) 住民による自主防犯活動について、地域防犯活動推進事業により支援を行うとともに、自治会の防犯外灯の設置等、及び自治会等の地域団体や商店街振興組合等による通学路や広場など公共的な場所に向けた防犯カメラの設置に対して補助を行うことにより、安全・安心なまちづくりを推進する。

なお、防犯外灯については、維持管理費の負担軽減や温室効果ガス排出の削減を一層進めるため、引き続き、新設・取替時の補助対象をLED灯に限定し、LED化を促進する。

また、公共の場所において、市民等に著しく不安を与え、迷惑をかけるキャバクラ等の客引き行為等を防止し、もって生活の安全と地域の平穏を保持するため、「四日市市客引き行為等の防止に関する条例」(平成28年7月1日施行)の周知・啓発を図るとともに、条例施行後に巡視活動を実施する。

(3) 市民が地域活動に積極的に参加できるよう地域づくりマイスター養成講座による地域づくりを担う人材の発掘・育成を進めるとともに、地域の課題解決に向けたニーズと地域で暮らす多様な技能を持つ人材とのマッチングの充実を図る。

【主な事業】	橋北交流施設管理運営費	1, 536千円
	橋北交流会館整備事業(橋北交流施設)	229, 200千円
	地区市民センター整備事業	28, 900千円
	地区市民センター整備事業 (アセットマネジメント)	22, 700千円
	地域活動費 (館長権限予算分)	36, 000千円
	地区市民センター住民運営推進事業	69, 175千円
	地域社会づくり総合事業費補助金	81, 108千円
	集会所建設費補助金	56, 500千円
	防犯外灯新設維持費補助金 (防犯外灯LED化推進事業)	116, 557千円
	地域の魅力等の情報発信に関する協働事業	3, 000千円
	市民協働の促進に向けた支援事業	2, 874千円
	市民が選ぶ市民活動支援のしくみづくり	1, 000千円
	まちづくり人材マッチング事業	1, 500千円
	地域づくりマイスター養成事業	470千円
	客引き行為等防止啓発事業	700千円
	地域防犯活動推進事業	3, 300千円
	防犯カメラ設置事業補助金	13, 900千円

## 2. 市民相談・消費生活相談事業について

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の家事等の問題、多重債務問題、また消費生活のトラブル等に関する相談に応じ、市民が自主的に解決できるよう支援する。そのため、相談員の資質向上に努めるとともに、弁護士など専門家による特別市民相談の実施や、消費生活出前講座などを開催するほか、県や警察など関係機関と連携し、消費者被害の未然防止に取り組む。特に高齢者の集会等へ積極的に出向き啓発活動に努める。

【主な事業】	市民相談室運営費	2,098千円
	消費生活相談事業	7,375千円

## 3. 多文化共生推進事業について

国籍や文化が異なる市民がお互いの個性を認め合い、共に支えあって暮らす「多文化共生社会」を目指す。そのため、外国人市民の集住地区である笹川地区においては、多文化共生サロンを中心に住民同士の交流の促進、社会に適応するための日本語学習の支援や日本文化・社会の理解促進等、外国人市民が地域の対等な構成員となるよう多文化共生の事業を推進していく。

【主な事業】	多文化共生推進事業	9,379千円
	モデル地区共生推進事業	6,431千円
	多文化共生サロン管理運営費	3,933千円

## 4. 文化振興について

四日市の文化力を全国へ発信し、都市イメージの向上を図ることを目的として開催する全国ファミリー音楽コンクールが第5回を迎えるにあたり、市内ならびに大都市圏においてプレイベントを開催するなど、より積極的なPRを行う。

音楽等情報ステーション事業については、主に市内における音楽や文化に関する公演や施設等の情報を収集し、デジタルと紙媒体のアナログにより情報の発信を行う。

また、市民等が主体となって企画運営し、まちに音楽があふれる四日市 JAZZ フェスティバルについては、第5回の記念となる事業の支援を行う。

地域に伝わる文化行事や民俗芸能の保存・継承のため、引き続き担い手育成や用具類等の更新等及び保管施設の改修等について支援するとともに、富田地区の「鳥出神社の鯨船行事」を含む全33件の国指定重要無形民俗文化財で構成される「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産への登録審査が平成

28 年中に行われるにあたり、登録推進の取り組みを行う。

また、遊休化している旧三浜小学校を有効活用し、芸術文化活動の場として利用できるよう改修工事を進め、開館に向けた整備を行うとともに、開館記念行事や施設の管理運営を行う。

市民の文化活動の拠点である文化会館については、安全で快適に利用できるよう計画的に更新を進めるとともに、より多くの市民が多様な芸術文化に触れられるよう、指定管理者である公益財団法人四日市市文化まちづくり財団と密接な連携を図りながら事業を推進する。

【主な事業】	市美術展覧会開催費	4, 135 千円
	市民文化祭等開催費	6, 552 千円
	四日市音楽コンクール開催事業	6, 500 千円
	音楽等情報ステーション推進事業	1, 008 千円
	四日市 JAZZ フェスティバル 5 周年記念支援事業	1, 000 千円
	文化振興事業支援補助金	3, 635 千円
	地域の文化遺産の保存・継承支援事業	2, 600 千円
	市民文化遺産保存検討費	1, 300 千円
	三浜文化会館管理運営費	29, 476 千円
	三浜文化会館整備事業	722, 400 千円
	文化会館等管理運営費	263, 133 千円
	文化会館等施設整備事業（アセットマネジメント）	54, 800 千円

## 5. 生涯学習活動支援について

市民大学一般クラスについては、さまざまなテーマの講座を市民団体や大学機関による企画運営で開催するとともに、熟年大学については、高齢者が学びながら仲間づくりをし、社会参加への意欲を高め、地域づくりへと活動を発展させられるよう講座等の内容の充実を図る。

また、市民との協働で生涯学習情報の提供や講座を企画するなど、市民の生涯学習活動の支援を行う。

【主な事業】	市民大学一般クラス経費	2, 224 千円
	熟年大学経費	2, 566 千円
	地区市民センター生涯学習事業	5, 408 千円

## 6. 男女共同参画の推進について

男女共同参画審議会、男女共同参画推進庁内調整会議等との調整を図りながら、「男女共同参画プランよっかいち 2015～2020」（平成 27 年 3 月策定）に基づき施策を推進する。

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）については、企業にとってワーク・ライフ・バランスは経営戦略の重要な柱であることの認識を深め、各企業、団体での取り組みの促進に向け、各種企業や団体への出前講座を実施するとともに、全国の事例等広く知見を有する専門家も交えながら企業と市との情報共有の場を設け、取り組みの拡充を図る。また、働く女性、働きたい女性が抱える、キャリア形成や働く上での様々な悩みについて相談できる窓口を新たに設置し、女性が自分らしく働いていくための支援を行う。

女性相談やDV相談については、多様化・専門化する相談に対応するため、女性の弁護士による法律相談、女性の臨床心理士による臨床心理士相談を引き続き実施する。さらに、配偶者暴力防止対策として、デートDV予防教育出前講座の学校開催の拡充及び指導者養成講座を充実させるとともに、DV防止講演会を開催するなど、DVについてより認識を広め、DVを許さない意識づくりを進めていく。

【主な事業】	男女共同参画推進事業	5 9 千円
	ワーク・ライフ・バランス推進事業	2, 0 1 8 千円
	学習機会提供事業	2, 2 6 7 千円
	女性相談事業	4, 3 8 3 千円
	配偶者暴力防止対策事業	3, 6 2 0 千円

## 7. 窓口サービスの充実について

戸籍や住所異動の届出受付、戸籍謄抄本や住民票の証明発行などの窓口業務について、個人情報をもとに正確かつ安全に管理し、市民の視点に立ったサービスを提供する。

また、社会保障・税番号制度のもと、個人番号カードの普及と適正な交付に努める。

【主な事業】	戸籍住民基本台帳事務費	9 9, 4 9 0 千円
	市民窓口サービスセンター運営費	4, 8 5 4 千円
	番号制度関連経費	3 6, 6 8 8 千円

## 8. あさけプラザ事業について

年間来館者約 46 万人のあさけプラザは、開館から 31 年が経過し、施設と設備の長寿命化と維持管理の軽減を図るため、計画的な改修工事を進めており、平成 28 年度は、給水管の更新工事を実施する。

また、幅広い年代の人びとが交流する広域対象複合施設として、引き続き、安全で快適な施設維持と各種講座やコンサートなど自主事業を行い、利用者に親しまれる場にしていく。

【主な事業】 施設管理運営費	70,150 千円
施設整備事業	30,000 千円
図書資料整備費	2,000 千円
あさけプラザ運営協議会負担金	1,300 千円

### (決算議会等の指摘に対する主な見直し事業)

#### ・四日市音楽コンクール開催事業 (文化振興課)

全国ファミリー音楽コンクールの開催にあたっては、より市民に親しまれるコンクールとなるよう、文化会館が実施している「学び舎音楽会」「子どもフェスティバル」等との連携した取り組みを行うとともに、「親子で楽器に触れる講座」の開催など、親子で音楽に親しむきっかけづくりとなる新たな取り組みを行い、市民が音楽に興味を持ち親しむ土壌づくりを図る。

#### ・四日市 JAZZ フェスティバル 5 周年記念支援事業 (文化振興課)

市民の主体的な活動により開催されている四日市 JAZZ フェスティバルが 5 回を迎えるにあたり、本市の文化力の創造と発信をさらに高められるよう、より集客力のあるゲストミュージシャンの招聘等、内容の拡充部分を対象に補助金を交付し、支援を行う。

## 橋北交流会館整備事業（橋北交流施設）

### 1. 目的

学校統合により遊休化している旧東橋北小学校について、早期に有効活用を図るため、市民活動の場などの貸館・貸しスペースである橋北交流施設及び地元の地域活動施設の整備を行う。

### 2. 内容

3階の一部を貸館・貸しスペースとして、1階の一部を地元の地域活動施設として整備する。

整備工事	225,900千円
備品購入	3,300千円

<b>3. 予算額</b>	229,200千円	（財源内訳）	地方債	182,900千円
（前年度	15,700千円）		その他特財	43,000千円
			（都市基盤・公共施設等整備基金繰入金）	
			一般財源	3,300千円

《参考：施設の整備計画》

#### (1) 利活用内容

校舎：延床面積5,704㎡（平成4年竣工、RC造4階）

1階 幼稚園および保育園、**地元の地域活動施設（134㎡）**

2階 幼稚園および保育園

3階 **貸館・貸しスペース（1,147㎡）**

企業OBによる中小企業・ベンチャー企業への相談支援の場

4階 児童館、子育て世代等交流の場

体育館、園庭、児童館広場、運動場、駐車場

#### (2) スケジュール

平成28年4月着工～平成29年2月末竣工（予定）

#### (3) 改修等に関する予算額

整備する施設	担当課	予算額
幼稚園および保育園	保育幼稚園課	428,000千円
<b>地元の地域活動施設、貸館・貸しスペース</b>	<b>市民生活課</b>	<b>225,900千円</b>
企業OBによる相談支援の場	工業振興課	19,500千円
児童館、子育て世代等交流の場	こども未来課	219,000千円
体育館、運動場	スポーツ課	47,600千円
合 計		940,000千円

担当 市民文化部市民生活課 岡島 TEL 354-8146
-------------------------------------

## 地区市民センター整備事業

### 1. 目的

地域社会づくりの拠点施設である地区市民センターにおいて、高齢者をはじめとする地域住民の安全かつ快適な利用を促進するため、1階和室部分のバリアフリー化やトイレの洋式化等の施設改修を行う。

### 2. 内容

- (1) 1階和室バリアフリー化工事等 18,500千円  
地区市民センター1階和室のバリアフリー化のための実施設計及び改修工事  
平成28年度対象：県、桜、川島、河原田地区市民センター
- (2) トイレ洋式化工事等 7,200千円  
羽津、四郷地区市民センター2階等トイレ洋式化のための改修工事等及び内部  
地区市民センターの下水道接続工事設計業務委託
- (3) 三重地区市民センター別館バリアフリー化工事 3,200千円  
三重地区市民センター別館のスロープ改修、自動ドア化等バリアフリー化のた  
めの改修工事

3. 予算額 28,900千円 (財源内訳) 一般財源 28,900千円  
(前年度 49,900千円)

担当 市民文化部市民生活課  
岡島  
TEL 354-8146

## 地区市民センター整備事業 (アセットマネジメント)

### 1. 目的

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、第2次推進計画に位置付けた公共施設について、維持管理費の軽減や省エネルギー化を図りつつ、計画的な予防保全による長寿命化を進めることにより、長期的な経費の削減及び財政負担の平準化を図る。

### 2. 内容

#### 長寿命化工事

(1) 常磐地区市民センター空調機更新工事設計業務委託	500 千円
(2) 中部地区市民センター空調機更新工事設計業務委託	900 千円
(3) 楠地区市民センター空調機更新工事設計業務委託	1,000 千円
(4) 塩浜地区市民センター空調機更新工事	11,300 千円
(5) 小山田地区市民センター空調機更新工事	9,000 千円

3. 予算額	22,700 千円	(財源内訳) 一般財源	22,700 千円
(前年度	27,700 千円)		

担当 市民文化部市民生活課  
岡島  
TEL 354-8146

## 地域活動費 (館長権限予算分)

### 1. 目的

地域の特色ある活動に対して、地区市民センター館長の権限で使える財源を配分することで、迅速に事業を執行し、地域活動の活性化を促進する。

### 2. 内容

#### (1) 対象事業

地域おこし・地域の特色を高めるものや、福祉、環境、子育てなどの地域課題に即応して効果的に対応する地域公益性に資するもので、地域のまちづくり委員会等で協議がなされ、地域合意が得られているソフト事業。

#### (2) 配分額

1 地区市民センターあたり 1, 500 千円以内

#### (3) 実施方法

全 24 地区市民センターに予算を配分する。

**3. 予算額**            36, 000 千円            (財源内訳) 一般財源    36, 000 千円  
(前年度            36, 000 千円)

担当 市民文化部市民生活課  
川口・岡島  
TEL 354-8146

# 多文化共生推進事業【地方創生】

## 1. 目的

日系南米人が多く居住する外国人集住都市として、国籍や文化が異なる市民が互いの個性を認め合い、共に支えあって暮らす「多文化共生社会」を目指す。また、外国人市民の子どもが本市の産業を支える人材へと繋がるよう取り組む。

## 2. 内容

### (1) 多文化共生推進事業

9,379千円

外国人市民に行政やその他生活上必要なサービスの情報を提供するため、窓口でのポルトガル語・スペイン語による通訳対応や、行政からの通知・案内文書の多言語による翻訳、生活に必要な情報についてポルトガル語で説明する生活オリエンテーション等を実施する。

また、各日本語教室において、学習者の日本語習得レベルを把握し、外国人市民の日本語習得レベルに応じた学習支援の仕組みづくりに取り組む。

**【地方創生】**さらに、外国人市民の子どもたちが、将来、社会的・経済的に自立した市民として定住していくために、早い時期から目標を持って学校生活を送り、キャリア形成に役立てることができるよう、外国人生徒と保護者を対象としたキャリアデザイン講座を新たに実施する。

### (2) モデル地区共生推進事業

6,431千円

笹川地区において、災害時における住民同士の「共助」の必要性を学ぶ防災セミナー等を実施するとともに、日本人市民と外国人市民の日常的なふれあいの場として、定期的に「ふれあい講座」を開催する。

また、多文化共生サロンで実施している日本語教室を直営化し、日本語学習支援や日本社会・文化の理解促進を図るとともに、地域における多文化共生事業との連携により地域社会との関わりを深めて、より地域に開かれた多文化共生の教室としていく。

### (3) 多文化共生サロン管理運営費

3,933千円

多文化共生サロンを中心にして、モデル地区共生推進事業をより効果的に実施するとともに、サロンに配置した多文化共生モデル地区担当コーディネーター等が、地元自治会や関係団体等と調整を図りながら、外国人市民の実態やニーズの把握を行い、日本人市民と外国人市民の交流を促進し、外国人市民の地域活動への参画を進める。

3. 予算額 19,743千円  
(前年度 21,997千円)

(財源内訳) その他特財 10,975千円  
(三重県市町村振興協会市町村交付金等)  
一般財源 8,768千円

担当 市民文化部市民生活課  
多文化共生推進室  
廣田・小林  
Tel 354-8114

# 市民相談・消費生活相談事業

## 1. 目的

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の様々な問題や、消費生活上のトラブルに関する相談事業や消費者啓発活動を通じて、市民が自主的に解決できるよう支援を行うとともに、消費者被害の未然防止を図る。

## 2. 内容

### (1) 市民相談室運営費

2,098 千円

市民相談では、行政に対する相談のほか、金銭貸借等の民事相談、相続、離婚等の家事問題など市民が生活の中で抱える様々な問題に対処する際の支援を行うため、相談員が十分な聞き取りをしたうえで適切な助言を行う。また、専門的な助言を必要とする市民に対しては、弁護士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・公証人・行政相談員による特別相談を定期的に実施する。

(参考) 平成 26 年度相談実績 3,956 件

### (2) 消費生活相談事業

7,375 千円

消費生活相談では、消費生活のトラブル等に関する相談に対して、専門の消費生活相談員が問題解決のため適切に対応するほか、専門的な助言を必要とする市民に対しては、弁護士相談を実施する。また、専門相談員を派遣する出前講座や職員によるワンポイント講座を各地区で開催し、積極的に啓発活動を行い消費者被害の発生及び拡大の防止に取り組む。特に高齢者の集会等へ積極的に出向き啓発活動に努める。

(参考) 平成 26 年度相談実績 1,758 件

**3. 予算額** 9,473 千円 (財源内訳) 県支出金 2,959 千円  
(前年度 9,409 千円) 一般財源 6,514 千円

担当 市民文化部市民生活課  
市民・消費生活相談室  
木下・松永・服部  
TEL 354-8147

# (新) 客引き行為等防止啓発事業

## 1. 目的

道路、公園、広場、駅その他の公共の場所において、市民等に著しく不安を与え、迷惑をかけるキャバクラ等の客引き行為等を防止し、もって生活の安全と地域の平穩を保持するため、「四日市市客引き行為等の防止に関する条例」を制定し、平成28年7月1日から施行するにあたり、条例に基づき周知・啓発及び巡視活動を行う。

## 2. 内容

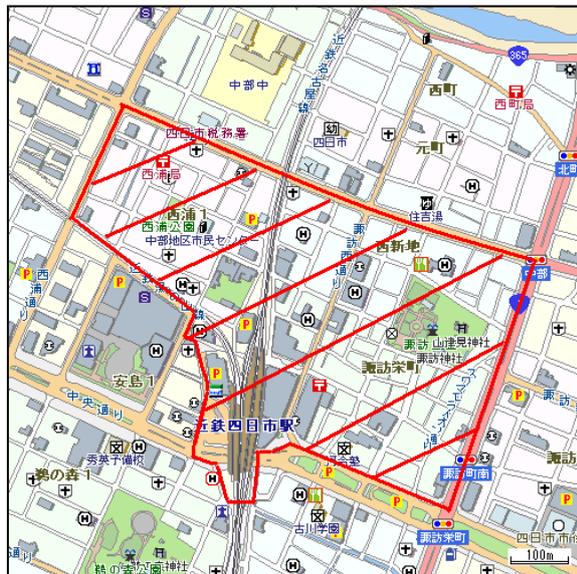
「四日市市客引き行為等の防止に関する条例」について、周知・啓発を図るため、地域住民や行政職員を対象とした講演会等を開催するほか、客待ちを禁止する指定区域においてデジタルサイネージの活用などによる屋外広告を行うとともに、ポスターの頒布やチラシの配布など地域住民や警察と連携した街頭啓発活動などの取り組みを行う。

また、条例施行後の法令遵守の徹底を図るため、定期的な巡視活動を行う。

### 【客待ちを禁止する指定区域】

四日市市のうち次に掲げる区域

西新地（西新地14番、15番、16番及び17番の街区を除く。）、  
諏訪栄町、西浦一丁目、安島一丁目1番の街区の区域



## 3. 予算額

700千円

(財源内訳)

一般財源

700千円

担当 市民文化部市民協働安全課  
堤・松本  
TEL 354-8179

## (新) 市民協働の促進に向けた支援事業

### 1. 目的

福祉や環境など各分野において市民協働による取り組みが促進されるよう、市民等の様々な主体に対して、市民協働の理解と進め方を啓発していくとともに、市民協働の担い手育成や情報発信、市民活動団体間の連携強化など市民協働促進のための支援を行う。

### 2. 内容

- (1) コミュニティビジネス創生塾の創設 394 千円  
次世代を担う若者・女性などがビジネスの手法で地域課題の解決手法や起業ノウハウを学び、新たなコミュニティビジネスの創出につなげていく。
- (2) プロボノ活動支援 800 千円  
専門的能力を提供して社会貢献するプロボノ活動を行う人たちが積極的に地域活動へ参加できるよう、専門分野ごとの人材を登録したうえで活動の場とのマッチング機会を提供していく。
- (3) 市民協働情報ポータルサイトの開設 380 千円  
市民活動団体及びその活動に関する情報や、行政情報の提供、掲示板機能を活用した情報共有など、市民協働の情報発信に関するさまざまな機能を持つホームページのポータルサイトを展開する。
- (4) 市民協働の担い手育成・連携強化等に関する協働事業 600 千円  
市民協働を促進するための担い手育成や中間支援の強化を図るための人材育成に向け、小中学生の協働体験、協働コーディネーターの育成、市民活動団体のネットワーク形成等について、市民活動団体から事業の提案を受ける。提案のあったものについて審査選考のうえ、市民活動団体と市双方の役割分担を踏まえ、協働事業として市が委託する。
- (5) 市民協働実践手引書の作成 700 千円  
市民等、市民活動団体、事業者及び市職員などが市民協働への理解を深め、実践するため、市民協働の進め方や事例を掲載した手引書を作成し、発行する。

3. 予算額 2, 874 千円 (財源内訳) 一般財源 2, 874 千円

担当 市民文化部市民協働安全課  
堤・松本  
TEL 354-8179

## (新) 市民が選ぶ市民活動支援のしくみづくり

### 1. 目的

市民の市民活動に対する理解及び関心を高めるとともに、さまざまな公共的課題の解決に向けた市民活動の活性化を図ることによって、市民協働の促進につなげる。

### 2. 内容

四日市市市民協働促進条例に基づき策定する四日市市市民協働促進計画（計画期間：平成28年度～平成32年度）においては、基本方針の一つに「市民協働を促進する市民活動の活性化」を掲げている。

その具体的な取り組みとして、市民が支援したい市民活動団体を選び、その投票に応じて市民活動団体に対し支援金を交付する、基金等を組み入れたしくみづくりを検討するため、調査・研究を行う。

3. 予算額 1,000千円 (財源内訳) 一般財源 1,000千円

担当 市民文化部市民協働安全課  
堤・松本  
TEL 354-8179

# 市民活動支援事業

## 1. 目的

「市民協働のまちづくり」を推進するため、市民が継続的に取り組む公益活動を支援し、地域コミュニティの充実を目指す。

## 2. 内容

- (1) 地域社会づくり総合事業費補助金 81,108 千円  
地域が自主的に取り組む様々な事業と各地区の地域社会づくりの推進母体となる団体事務局の運営に対し、総合的な支援を行う。
- (2) 防犯外灯新設維持費補助金 116,557 千円  
地域が管理する防犯外灯の設置費（新設・取替時の補助対象をLED灯に限定）及び維持管理費を補助することで、地域の防犯・安全の充実を図るとともに、LED化を促進し、環境負荷の低減を図る。
- (3) 【地方創生】まちづくり人材マッチング事業 1,500 千円  
退職後の団塊の世代など、地域で暮らす多様な技能を持つ人材を有効活用するため、それら人材と地域ニーズとのマッチングを行う。
- (4) 【地方創生】地域づくりマイスター養成事業 470 千円  
地域において市民活動・市民協働を理解し携わる人材の育成とネットワークの構築を目的として講座を実施する。四日市市自治会連合会が主体となって実施した海外研修を踏まえ、地域づくりに有意義でさらなるレベルアップにつながる内容について米国ロングビーチ市の地域リーダーシッププログラムの手法を取り入れた養成講座を開催する。
- (5) 地域防犯活動推進事業 3,300 千円  
安全なまちづくりに向けた住民による自主防犯活動を推進するため、防犯用具の購入や研修を支援するとともに、これから防犯活動を始めようとする地域での講座の開催など、防犯活動の普及啓発を行う。
- (6) 防犯カメラ設置事業補助金 13,900 千円  
市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、市民による防犯活動等を補完するものとして、公共の場所に向けて新たに防犯カメラを設置する自治会等の地域団体、商店街振興組合等を対象に、それらの購入及び設置工事等に対する補助を行う。
3. 予算額 216,835 千円 (財源内訳) 一般財源 216,835 千円  
(前年度 232,362 千円)

担当 市民文化部市民協働安全課  
松本・吉田  
TEL 354-8179

## 音楽等情報ステーション推進事業【地方創生】

### 1. 目的

音楽活動をしている人や音楽を聴きたい人が求めている魅力的な情報を一元的に収集して発信することで、より音楽に親しみ、音楽活動が行いやすい環境づくりを行い、若者等の地域への定着や地域の活性化を図るとともに、本市の文化の振興に資する。また、将来的には音楽に限らず、文化全般に幅広く分野を広げていく。

### 2. 内容

音楽情報の収集・発信にあたっては、インターネットを活用したデジタル情報と、チラシ・ポスター等のアナログ情報の両面から行き、容易に情報の提供や入手ができるようにする。

#### (1) デジタル情報

本市の音楽施設や音楽イベント情報などの投稿・閲覧サイト「四日市市音楽情報ステーション」について、維持管理を行う。

#### (2) アナログ情報

市内で行われる音楽を含めた文化的なイベント等のチラシ・ポスターなどを収集し、市民窓口サービスセンター内「四日市市文化情報スポット」で掲示・配布を行う。また、一体としてPRすることによって相乗効果が期待できる、音楽をはじめとする文化的なイベントについて、共通のチラシを作成するなど、連携を図る。

**3. 予算額**                      1, 0 0 8 千円                      (財源内訳)                      一般財源    1, 0 0 8 千円  
(地方創生先行型    2, 5 0 0 千円)

担当 市民文化部文化振興課  
倉城  
TEL 3 5 4 - 8 2 3 9

## (新) 四日市 JAZZ フェスティバル 5 周年記念支援事業費

### 1. 目的

四日市 JAZZ フェスティバル実行委員会と公益財団法人四日市市文化まちづくり財団が共催し、四日市市文化会館の開館 30 周年を記念した事業として平成 24 年度から開催されている「四日市 JAZZ FESTIVAL」が平成 28 年度に第 5 回を迎えるにあたり、市民の主体的な活動により本市の文化力の創造と発信をさらに高められるよう、音楽を通じた魅力と活気あふれたまちづくりを支援する。

### 2. 内容

市民の主体的な活動により開催されている「四日市 JAZZ FESTIVAL」の第 5 回開催を記念し、より集客力のあるゲストミュージシャンの招聘や、そのための優れた音響機器等の設営、警備の強化など内容を充実させるため、その部分を対象に、四日市 JAZZ フェスティバル実行委員会に対して補助を行う。

(参考) 第 5 回四日市 JAZZ FESTIVAL の開催 (予定)

- ①開催日 平成 28 年 9 月 10 日 (土)、9 月 11 日 (日)
- ②会場 市民公園ほか市内各所
- ③主催 四日市 JAZZ フェスティバル実行委員会  
公益財団法人四日市市文化まちづくり財団

3. 予算額 1, 0 0 0 千円

(財源内訳) その他特財 1, 0 0 0 千円  
(文化振興基金繰入金)

担当 市民文化部文化振興課  
倉城  
TEL 3 5 4 - 8 2 3 9

# 三浜文化会館整備事業

## 1. 目的

遊休化している旧三浜小学校を活用し、文化会館などの既存施設を補完する、芸術文化活動における練習・発表の場や、生涯学習の場および地元の地域活動施設をあわせ持った施設の整備を行う。

## 2. 内容

遊休化している旧三浜小学校を有効活用した芸術文化活動の場を整備する。

整備工事	690,000千円
備品購入	29,000千円
工事監理業務委託等	3,400千円

### (1) 施設の概要

建物敷地：12,945㎡、運動場：9,445㎡  
校舎：延床面積5,654㎡（RC造3階）  
（特別教室棟：昭和56年竣工 管理・教室棟：平成2年竣工）  
体育館：延床面積748㎡（昭和63年竣工、RC造1階）

### (2) 施設の利活用内容

校舎1～3階 芸術文化活動施設・生涯学習の場  
1階 地元の地域活動施設  
多目的ホール、広場、駐車場など

### (3) スケジュール

平成28年4月着工 ～ 平成28年10月末竣工（予定）

**3. 予算額** 722,400千円  
(前年度 49,600千円)

(財源内訳) 県支出金 10,000千円  
市債 558,900千円  
その他特財 131,100千円  
(都市基盤・公共施設等整備基金繰入金)  
一般財源 22,400千円

担当 市民文化部文化振興課  
中島  
TEL 354-8239

# 文化会館等施設整備事業（アセットマネジメント）

## 1. 目的

四日市市アセットマネジメント基本方針並びにアセットマネジメント実行計画に基づき、開館後33年が経過する文化会館について、維持管理費の軽減や省エネルギー化を図りつつ、計画的な予防保全による長寿命化を進めることにより、長期的な経費の削減及び平準化を図る。

## 2. 内容

- (1) 天井崩落・音響設備工事实施設計 49,000 千円  
複雑な吊り天井である第1ホール及び第2ホール等について、平成26年4月施行の建築基準法改正に伴う天井崩落対策工事及びそれに伴う音響設備改修工事を実施するための実施設計を行う。
- (2) 自動制御盤設備更新工事設計 500 千円  
文化会館全館の空調等の自動制御装置を更新するための設計を行う。
- (3) 展示棟空調設備更新工事 5,300 千円  
展示棟にある収蔵庫のパッケージエアコンに係る室内機、室外機の更新及び同工事の設計を行う。

3. 予算額 54,800 千円 (財源内訳) 一般財源 54,800 千円  
(前年度 77,300 千円)



第1ホール天井裏現況



展示棟空調機（室外機）外観

担当 市民文化部文化振興課  
中島  
Tel 354-8239

# 番号制度関連経費

## 1. 目的

社会保障・税番号制度は、行政を効率化し、住民の利便性を高め、公平かつ公正な社会の実現を目的とした制度である。

本制度により、各種行政事務の効率化が図られ、添付書類が不要となることで手続きが簡素化される。また、正確な所得の把握が可能となるため、社会保障や税の給付と負担の公平化が図られるものである。

## 2. 内容

### (1) 個人番号カードの交付等

個人番号カードは、個人番号（マイナンバー）を証明する書類として、また、本人確認の際の身分証明書としても利用できるカードであり、希望者に対して順次交付を行う。

住所や氏名変更などカードの記載事項に変更があった場合には、正確かつ迅速に追記欄への記載等を行う。

### (2) 新たに住民となった人への個人番号（マイナンバー）の付番と通知

出生や国内転入などにより新たに住民票を有することとなった市民に対して、個人番号を付番し、氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバーが記載された通知カードの配布を行う。

通知カード



個人番号カード(表面)



3. 予算額 36,688千円  
(前年度 120,203千円)

(財源内訳) 国庫支出金 30,797千円  
その他特財 516千円  
(通知カード再交付手数料等)  
一般財源 5,375千円

担当 市民文化部市民課  
坂倉  
Tel 354-8152

# ワーク・ライフ・バランス推進事業

## 1. 目的

一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方の選択や、能力を生かすことができる社会の実現を目指す。

## 2. 内容

### (1) ワーク・ライフ・バランス推進事業

1,298 千円

ワーク・ライフ・バランスは企業にとって、経営戦略の重要な柱であることの認識を深め、各企業、団体による取り組み促進に向け、各種企業や団体への出前講座を実施する。

**【地方創生】**新たに、全国の事例等広く知見を有する専門家も交えながら企業と市との情報共有の場を設け、取り組みの拡充を図る。

### (2) 【地方創生】女性就労支援事業

720 千円

働く女性、働きたい女性が抱える、キャリア形成や働く上での様々な悩みについて、キャリアカウンセラー等の専門家を相談員とした無料の相談窓口を新たに設置し、女性が自分らしく働いていくための支援を行う。

## 3. 予算額

2,018 千円

(財源内訳) 一般財源

2,018 千円

(前年度

1,590 千円)

担当 市民文化部男女共同参画課  
岩波  
TEL 354-8331

# 男女共同参画にかかると相談・配偶者暴力防止対策事業

## 1. 目的

男女がお互いを尊重しつつ責任も分かち合い、一人ひとりが、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざす。また、配偶者等からの暴力の防止や被害者の保護及び自立支援を図る。

## 2. 内容

### (1) 相談事業

4,383 千円

女性が抱える悩みや問題を解決するため、女性の相談員による女性相談や多様化・専門化する相談に対応する女性弁護士による法律相談、女性臨床心理士による臨床心理相談を実施する。加えて、男性の相談員による男性向けの電話相談を実施する。

また、DV防止講演会を開催するなど、DVについてより認識を広め、DVを許さない意識づくりを進める。

### (2) 配偶者暴力防止対策事業

3,620 千円

相談員の資質向上とメンタルケアのため、「相談員のための相談・指導(スーパービジョン)」を行うとともに、DV相談の充実を図るため、弁護士、臨床心理士による相談支援を行う。

また、若年層を対象としたデートDV予防教育を教育委員会、人権擁護委員等と連携して学校での開催を拡充するとともに、デートDV予防教育を広く継続的に実施するため、指導者の養成を充実する。

## 3. 予算額

8,003 千円

(財源内訳) 国庫支出金

73 千円

(前年度 6,211 千円)

一般財源

7,930 千円



DV防止講演会

担当 市民文化部男女共同参画課  
岩波  
TEL 354-8331

# あさけプラザ施設整備事業

## 1. 目的

あさけプラザに係る給排水管の劣化調査において、劣化が進行し漏水の危険性がある給水管について、更新工事を行い、施設・設備の安定的な運営を図る。

## 2. 内容

給水管更新工事

開館（昭和 59 年 8 月）から更新していない給水管の更新工事

延床面積 : 約 5, 8 1 7. 0 5 m<sup>2</sup>

給水管総延長 : 約 1, 2 0 0 m

3. 予算額 30, 000 千円 (財源内訳) 一般財源 30, 000 千円  
(前年度 41, 500 千円)



給水管

担当 市民文化部 あさけプラザ  
岡本  
TEL 363-0123